

Kochi Technical High School Alumni Association



会報

No.63号 令和6年2月



創立者像

高知県立高知工業高等学校同窓会

本会報は平成19年6月12日に制定した『高知県立高知工業高等学校同窓会個人情報保護に関する方針』に基づいて作成しています。

目次

令和6年度同窓会総会のお知らせ

ご挨拶

同窓会会長・校長	1
令和6年度 講師プロフィール	3
令和5年度 講演内容	4
110周年に寄せて 同窓生より	
卒業の頃と母校あれこれ 岡崎 洋一郎	6
学びに感謝 武内 則男	11
高知工業高等学校を卒業して31年 西原 功起	15
100周年から10年 寺川 湖砂	18
どう生きて どう活かすか 浅利 友美	20
入学から現在まで 保川 明香里	23
支部便り	
東京支部	25
東海支部	26
大阪支部	27
安芸支部・嶺北支部	28
幡多支部・物部川支部	29
開校記念ゴルフ大会のご案内	30
『工業ハ富国ノ基』読書感想文表彰	31
母校だより	
進路指導部より	32
進学指導部より	34
企画・情報部より	
5年ぶりの体育祭開催	35
ジュニアマイスター顕彰制度	36
定時制だより	37
「高知工同窓会母校に車寄贈」新聞記事	38
本部より	39



お知らせとお願い

同窓会会長 右城 猛（昭和45年土木科卒）

会長3期目を続投

令和2年から猛威を振っていた新型コロナウイルスが、今年5月8日から5類になり、ようやく以前の生活に戻ってきました。会員の皆さまにおかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。日頃は同窓会活動にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

5月3日の令和5年度同窓会総会におきまして、会長に再任させていただき3期目を続投することになりました。コロナ禍は、ほとんどの支部総会が中止され、会員の皆様とお会いすることができませんでした。これからは積極的にお邪魔して皆様との懇親を深めさせていただきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

同窓会総会

令和5年度の同窓会総会を4年振りに対面形式で開催しました。多数の会員の皆様とお会いできることを楽しみにしていたのですが、残念ながら出席者は例年の約半数の119人でした。会場確保の都合でGWの真ん中で開催したことが失敗であったと反省しています。また、開催案内に対する会員への連絡も十分ではありませんでした。大変申し訳なく思っています。

来年度の同窓会総会は4月29日（月）昭和の日に、「ザ・クラウンパレス新阪急高知」で開催します。同級生や知人をお誘いいただき多数の皆様のご出席をお願い申し上げます。

会員名簿の発刊

今年の3月に同窓会会員名簿を発刊しました。個人情報保護が難しいということで、平成23年度の発刊を最後にしていたのですが、会員名簿がないと同窓会活動が思うようにできないというご意見がありましたので11年振りに発刊しました。希望者は同窓会事務局へお申し込みください。価格は4,000円（送料別）です。

ワゴン車を学校へ寄贈

11月10日には、10人乗りのトヨタハイエースワ

ゴンを母校に寄贈させていただきました。課外活動やクラブ活動での生徒の送迎に利用するのが目的です。

車両の購入費の410万円は、創立110周年記念事業で集めた愛校募金と協賛広告から出させていただきました。今後、税金、保険金、燃料費、定期点検など維持費が毎年100万円かかります。これにつきましては、母校の教育に理解のある2団体4企業から車体広告に対して協賛をいただくことができましたので、その広告費（年間60万円）をあてることにしています。

終身会費の納入と寄付金のお願ひ

同窓会の年間収入は670万円です。内訳は在校生からの入会金と終身会費で535万円、同窓生による年会費及び終身会費35万円、企業の広告費100万円です。これに対して支出は1,140万円です。内訳は、入会記念費50万円、会報発行費210万円、同窓会活動支援金110万円、学校活動支援金240万円、同窓会運営費530万円です。年間470万円が不足しており、改築期成会の残金等で補填していますが、このままであれば3年後に会計は破綻します。

平成9年以降の卒業生については在学時に終身会費をいただいておりますが、平成8年以前の卒業生で終身会費を納めている方は3,751名です。未納の方は終身会費2万円の納入をお願いします。

寄付金の募集も行っています。何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

会員の皆さまのご意見、お力添えをいただいで同窓会の活性化に努めて参る所存でございます。どうかよろしくお願ひ申し上げます。



ご挨拶

校長 北村 晋助

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のことと存じ上げます。また、日ごろから母校の教育活動の充実・発展のためご支援・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

同窓生の皆様がそれぞれの地域・職場でご活躍されながら、常に母校に対しても気に掛けてくださっていることに深く感謝しております。

3月には全日制241名、定時制26名の卒業生を送り出し、卒業生総数も全定あわせて、31,142名となりました。また、4月には全日制は274名、定時19名が本校生徒として新たに入学し、現在、全日制818名、定時制56名、計874名の生徒が、学習や部活動などに頑張っています。

さて、昨年度は創立110周年という節目の年を迎え、高知県知事 濱田省司様、をはじめ、多数のご来賓、協賛企業、同窓会、保護者の皆様のご臨席を賜り、記念式典を盛大に挙行することができました。同窓会の皆様には、式典への出席はもちろん、募金活動、協賛広告料などによる歴史的作業機械の展示施設の整備、また、部活動の遠征に利用できる10人乗りハイエースワゴン車の購入など、多大なご支援を賜り心より感謝申し上げます。ワゴン車につきましては、本年11月に贈呈式を挙行し、右城会長から贈呈いただきました。今後の教育活動に大切に使用させていただきます。

本年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に変更され、様々な教育活動ができるようになりました。体育祭も5年ぶりに開催でき、生徒は全学年初めての体育祭となり、準備や本番も不安や戸惑いもありましたが、競技決め、パネル作り、やぐら建て、応援練習、会場の準備など、本当に良く取り組み、そして、本番、天候もよく、来賓、保護者、地域の皆さん、そして、同窓会の方々に多数来場していただき、大変盛り上がった体育祭となりました。総合優勝は土木科で32連勝を達成しました。コロナで中断していましたがやっぱり強い土木科でした。また、今回の体育祭では、創設者竹内綱先生の5男である吉田茂元首相から寄贈され、昭和39年まで使われていたと思われる「創立記念各科対抗継走大会」の優勝旗が同窓会の資料室から見つかり、大変価値あるもので会場の皆さんに披露し、体育祭の最終種目の各科対

抗リレーの優勝学科に授与し、体育祭を更に盛り上げました。私自身も本校での初めての体育祭でしたが、高知工業の素晴らしさ、歴史と伝統を改めて感じる一日でした。

本年度も、進路保障、資格取得、部活動や研究活動の充実という三つの柱を掲げ、全国レベルで戦いのできる学校を目指し、日々取り組んでおります。昨年度も、コロナ禍の影響はありましたが、様々な取組で生徒の活躍が見られました。今年度も、県体育大会での空手部の優勝、バスケットボール部が久々の3位入賞などの活躍が見られ、四国大会、全国大会に多くの部活動が出場いたしました。四国大会ではソフトボール部が9年振りの優勝となりました。ものづくりコンテストでは、四国大会に高知県代表として各部門に出場し、測量部門では3年連続優勝し、全国大会に出場に出場するなど、それぞれの競技やコンテストで活躍しております。また、まんが甲子園にも2年連続の出場となり、同窓会の皆様にはテレビCMにたくさんの支援をいただきました。

資格取得においても、同窓会の支援制度も励みとなり、昨年度も多くの資格を取得し、ジュニアマイスター顕彰制度においてゴールド、シルバーなど合わせて128名が認定され、全国上位30校に3年連続入るなど素晴らしい成果となり、ジュニアマイスター顕彰優秀校も3年連続受賞しております。定時制も昨年度も橋梁模型コンテストの全国大会で1年生が最優秀賞となるなど継続的な取り組みが成果を上げております。

本校は今後もこれまで同様、在校生も卒業生も誇りに思うことのできる学校、そして他から目標ともされる学校の姿として、日本一の工業高校を目指して日々取り組んでまいります。生徒たちには、創立111年目を迎え、歴史と伝統を誇りとし、創立者の理念「工業富国基」を胸に刻み、志を高く、未来に向かって更に羽ばたき、挑戦し続けてほしいと願っております。

結びに、同窓生の皆様には引き続き「チーム高知工業」の一員として、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、同窓生の皆様のご活躍とご健勝を、ご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。





講師プロフィール

角田 和夫 (Sumida Kazuo)

- 1952年生まれ 高知県高知市出身 1970年高知県立高知工業高等学校機械科卒
- 1988年 「満月の夜」東京銀座コダック・フォトサロン
- 1989年 「土佐深夜日記」東京銀座ニコンサロン
- 1993年 高知新聞学芸部「元無名兵士の手記から ー旧・満州へー」連載
- 1995年 「追憶の旅 ー旧・満州へー」東京銀座フジフォトサロン・プロスペース
- 1997年 「散歩の風景 ー私の見たニューヨーク 東京新宿コニカプラザ
- 1999年 文化庁派遣芸術家在外研修員として、ニューヨークICPで研修
- 2001年 「ニューヨーク地下鉄ストーリー」新宿ニコンサロン
- 2002年 第11回林忠彦賞受賞「ニューヨーク地下鉄ストーリー」
- 2003年 高知新聞学芸部「シベリアへの旅路ー我が父への想い」連載
- 2005年 「ウラジオストック Day Time」アルカ・ギャラリー
- 2005年 「New York Days, New York Nights」OK HARRIS (ニューヨーク)
- 2006年 高知県香美市立美術館 宮崎進&角田和夫二人展「シベリアから平和を考える」
- 2007年-2008年 土佐フォトギャラリー 高知新聞連載
- 2010年 イギリス-JAPAN ADF AWARD 2010 ファイナリスト
- 2011年 New York Offer ARLATINO ギャラリー (アルル、フランス)
- 2011年 「写真旅日記 アルルからニューヨークへ」高知新聞連載
- 2012年 パリフォト2012出品 (ローレンスマラーギャラリー)
- 2013年 ローレンスマラー ギャラリー写真展
“Notes from Underground: Memories of my Uncle.”
- 2013年 アメリカシカゴ アート 国際写真祭 出品
- 2013年 パリフォト2013出品 ローレンスマラーギャラリー
- 2014年 ラサール大学 (フィリピン) School of Design and Arts 教授
- 2014年 ロシア、ウラジオストック Vladivostock State
University of Economics and service 短期写真講師
- 2020年 よんでん芸術文化賞 受賞
- 2022年 高知県立美術館 土佐深夜日記 個展

パーマネントコレクション Smithsonian National Museum of Asian Art.
デンバー・アート美術館 シカゴ美術館 (USA) 周南市美術館 (日本)

著書 ニューヨーク地下鉄ストーリー

シベリアへの旅路ー我が父への想い

My Journey To Siberiaーシベリアから平和を考える

土佐深夜日記

マニラ深夜日記

社員研修事業・コンサルティング事業を通じてわかった “企業で活躍する人材”の共通点



ストロングポイント株式会社 代表取締役 加賀 隼人

ストロングポイント株式会社代表取締役加賀隼人です。会社はコンサルティング会社を営んでいます。前職はデロイトトーマツのコンサルティングチームで10年間修業をして会社を創業しました。事業は3つ中堅・中小企業向けコンサルティングと採用支援と社員育成を提供しています。私が起業した理由は2つあります。一つ目は前職で高知企業の倒産情報から土佐電鉄PJにアサインされなかったことで高知への想いが強まった。二つ目は高知県企業の経営者の高齢化で全国でも上位の結果を見た。コンサルティングというサービスで何か貢献できないか?と問い、会社を作った。コンサルティングを知らない人も多いと思うので説明します。一昔前は以下のような内容。

「相談相手、アドバイス」: 経験に基づいた情報
「頭脳を借りたい」: 戦略や施策に対する

現在は以下のような内容

「手を借りたい」: 難易度の高い業務(専門家支援含む)
「社内への刺激」: 変革の先頭、社員育成も兼ねて。このような事業から多くの経験と知見を得ましたのでそれをまとめて

「企業で活躍する人材」としてご紹介します。結論は3つあります。

1. 自走できる人材 → 自ら考えて動ける人材
2. 人望がある人材 → 人を動かすことができる
3. 学習能力がある人材 → 些細な事象からでも、知見を引き出し、学習することができる

時間が限られておりますので1のみをご紹介します。様々な見解がありますが、私が共感できた理論をご紹介します。

内発的動機づけ (エドワード・L・デシ)

- | | |
|----------|-------------------------|
| ①有能感 | —自分はあるという感覚 |
| ②自律性 | —自分で決めているという感覚 |
| ③他人との関係性 | —信頼関係が築けており、安心して邁進できる感覚 |

前提として自走人材のほとんどが持っている特徴は仕事に対して内発的動機付けで動いている人が多い。内発的動機づけの解説は避けます。この

内発的動機づけに必要な要因が3つ。これが自走人材の要素と同じであるように思います。3つの中で、自走人材が共通的に持っているのが①有能感。有能感は一言でいうと「自信」。自走人材のほとんどが自信を持っている。この有能感が無いと、②自律性や③他人との関係性があっても自走しない。よくある失敗は、①が無い社員に②の自分で決めさせて実行することを促すパターンである。この場合、ほとんどが実行されずに終わる。よく聞くのが「権限移譲」したけれど、幹部社員は全く動かなかったという話である。まずは、①有能感を高めることからスタートすべきである。多くの社員・幹部が社長から褒められたことが無いと言う。結果的に、幹部社員の有能感は低く、社長の少し離れた次世代幹部候補は有能感を持った社員がいる。というのが私の経験だ。以上。参考になれば幸いです。

自己紹介

加賀 隼人(かが はやと)ストロングポイント株式会社 代表取締役社長

- ◆ **生まれと育ち**
愛知県知多市で生まれ、愛知県で育ち、大阪で社会人になりました。前職はデロイトトーマツグループで10年間コンサルタントとして活動。名古屋支社長・大阪支社長を歴任後、2014年10月にストロングポイント創業
- ◆ **コンサルティング**
19年間コンサルティングをやっています。製造建設サービス流通IT業。大手中堅中小企業約500社に対するコンサルティング実績があります。組織開発、人事制度構築支援、人材育成、売上アップ(マーケティング営業)、新規事業開発、組織再編などがコンサルティング分野です。
- ◆ **所属団体**
日本総経協、大阪神戸商工会議所、愛知県経営者協会、東京都中小企業基盤、第三銀行、中国銀行、百十四銀行、香川銀行、愛知県庁など。各界団体や地方銀行信用金庫など外部講演実績も多数あり。外部講演実績100回以上、研修講師実績400回以上
- ◆ **著書**
出版「後継社長力」クロスメディア・パブリッシング

Amazonランキング
カテゴリー4冠達成(2022年10月)



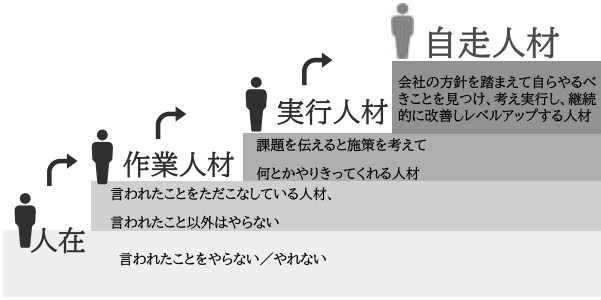
Copyright © 2023 Masahito Kagawa. All Rights Reserved. Copyright ストロングポイント株式会社

私が考えた「問い」

- ①自走できるは本人の元々の資質? 育成の成果?
- ②なぜ目標設定を高くしたがる人と低くしたがる人がいるのか?
- ③人望はどうやったら得られるのか?

Copyright © 2023 Masahito Kagawa. All Rights Reserved. Copyright ストロングポイント株式会社

人材の4つの階段



外部環境だけではない、目標設定の高低

	未分化概念	分化概念
知能観	増大理論	固定理論
知能は	努力を通じて増えるスキルのレバートリー	全体的、安定的な実態でその適切な遂行成績によって判断される
努力は	知能を高める手段	低い知能をさらすかもしれない

目標設定を高くしたがる人 = 増大理論派
目標設定を低くしたがる人 = 固定理論派

知能観だと言われる

自走のメカニズム①: 動機づけは2つある

外発的動機づけ

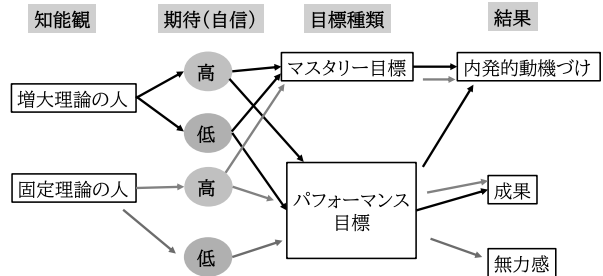
外発的動機づけとは義務、賞罰、強制などによってもたらされる動機づけである。外発的動機づけに基づいた行動は何らかの目的を達成するためのものである。たとえばテストで高得点を取るためにする勉強や、昇給を目指して仕事を頑張る場合などがそれにあたる。

内発的動機づけ

内発的動機づけとは好奇心や関心によってもたらされる動機づけであり、賞罰に依存しない行動である。自分で課題を設定してそれを達成しようとするような状況においては自分が中心となって自発的に思考し、問題を解決するという自律性、また解決によってもたらされる有能感が得られ、動機づけとなり得る。たとえばある子供がTVゲームに熱中しているとき、その子供は賞罰による動機づけではなく、ただ単にゲームが楽しいからという内発的な動機によりそれに熱中するのである。

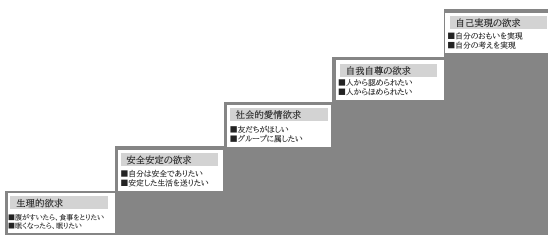
達成目標の影響プロセス(まとめ)

知能観と目標の種類と現場感での結果



自走のメカニズム②: マズローの欲求5段階説

1970年アブラハムマズロー: 人間のさまざまな欲求は5つに分けられる

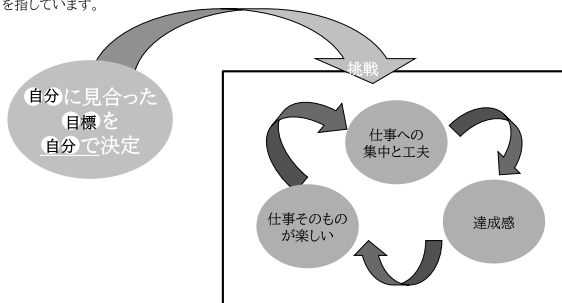


人望の樹



自走のメカニズム④ フロー理論 -Mチクセントミハイ(1990年)

フローは、「時を忘れるくらい、完全に集中して対象に入り込んでいる精神的な状態」を指しています。

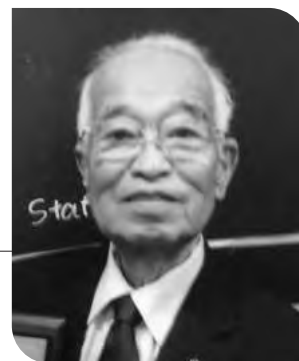


まとめ

- (1) 自走社員は年齢、経験では身につかない
- (2) 内発的動機付けによる行動が重要
- (3) 目標設定は知能観に依存する
- (4) 人望は「仁義礼智信」「個人力」「上司力」「変化対応」「知行合一」「原因自分主義」「プラス思考」「素直」「学び好き」

『卒業の頃と母校あれこれ』

岡崎 洋一郎 (S32年 機械科卒)
シュウハウス工業(株)取締役会長



S14年2月3日芸西村生まれ。S32年に卒業、(株)ミロク工作所に入社。趣味は狩猟、射撃。国体にクレ射撃選手や監督で通算17回出場。

H7年高知市議会議員選挙に初当選、連続4選、副議長や議長を務めH23年5月勇退。(公財)県スポーツ協会副会長等令和4年6月迄務めた。編著に『高知県機械工業史』『鉄砲造り百年』歌集『市政のはざままで』県ライフル協会50年史『県ラの弾道』等がある。

(1) はじめに (創立110周年からはや2年)

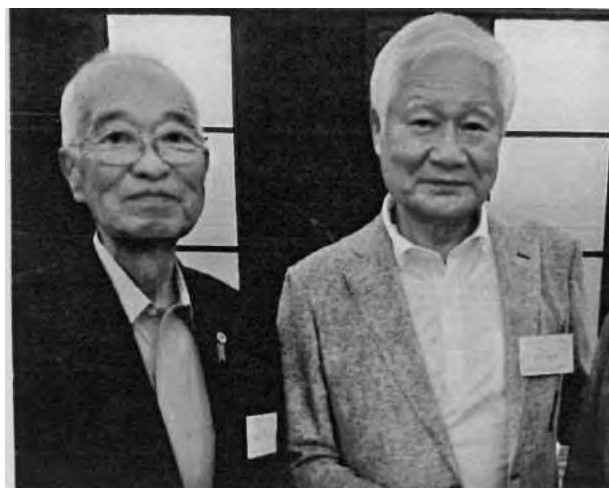
令和4年4月29日県立県民体育館にて、母校の創立110周年の式典が開催された。この時には、京都大学院の木村 亮氏(工業研究科教授・工学博士)によるアフリカでの道路整備と改良工事の



木村 亮氏

活動を紹介する特別公演があり、在校生徒に「QPMのクエッションから解決を導く基軸をもって将来を目指せよ!」と熱く語られた。木村亮氏の説得力が強く印象に残ったあの式典から、はや2周年を迎えようとしている。

写真家でご活躍の野町和嘉氏(母校OB)の写真展が、令和5年7月8日~9月24日迄 県立美術館で開催されたが、心に響く素晴らしい写真群に圧倒され、私は2度足を運んだ。



筆者と野町和嘉氏(右)

今回の写真展を母校OBや在校生の多くが観たことであろう。

又 オープン当日の夕には、南国市のグドラック会場で、野町氏を囲む<新大地の会>の祝賀パーティも中沢 仁氏(香美市水道組合取締役)のお世話で開催され、数多い参加者に母校同窓会会長右城 猛さんや関係者10人程も加わり盛会であった。

野町氏の出版写真集(天空の渚、地平の彼方から、極限の高地エチオピア、シベリア収容所、世界遺産、愛と信念の言葉等)も素晴らしかったが、今回、私の心を熱くした感動の写真展にふれておきたく前出の旧稿に加筆させて頂いた。

(2) 母校創立からわが時代へ

母校の創立110周年を振り返ると、明治45年(1912年)創立。北与力町で工業高等学校開業。昭和23年(1948年) 棧橋通2-11-6に移り県立高知工業高等学校となった。振り返れば、私達が卒業した昭和32年(1957年)は母校創立65周年にあたり、戦後日本の復興が基軸であり、神武景気(1954~1957年) なべ底景気(1957~1958年) 岩戸景気(1958~1961年) この後に、イザナギ景気(1965~1970年)の好況時代やオイルショックの時代もあった。当時を思いおこすと私達は極めて恵まれた卒業時代で、日本経済上昇期の潮流に乗り、大手企業群から採用の手が差し伸べられ、卒業生達がそれぞれ基幹企業等で、企業発展に活躍できた時代背景は有難いことであったと思う。

(3) 在学時と卒業当時の状況

母校が歴史に残した足跡の中でも、私達の在学

時から卒業の頃は特に充実し発展していった様に思う。小松生幹校長（六居の俳名で知られる）が、「マイルレースでランディーとバニスターの2人が記録の壁を破ったことは、新時代の幕開け」と語って下さった事が思い出される。在学中での、主任の塩田、久松両先生や浅野、田口、今井、島崎、宮地、貞広、道願、津野、百田、加藤、浜田の諸先生方のご指導が今でも懐かしい。母校の新時代で、私達が誇りとする三例を取り上げてみる。

※ 本校相撲部の素晴らしい活躍がある。

機械科同年（島崎正隆、西野俊夫）建築科（早川紀夫）君達が、土居先生のご指導で全国優勝を成し遂げる等、歴史にのこる黄金時代を築いた。活躍した相撲部の土俵場は、旧校舎と校舎をつなぐ渡り廊下の傍にあり、汗まみれの練習姿をよく見た。



※ 私達が入学時、全日制では初めて女子学生1名の入学があり、同32年に卒業した。翌年には女子学生2名が卒業し、母校は次第に共学の時代となった。

※ 旧校歌に加えて、作曲平井康三郎「筆山のみどりに映えて・・・」の新校歌が採用されたこと。

以上の様な事を含めて、在学から卒業時の母校は、新しい充実した時代だったと思う。

私達機械科は、各30名の2クラス編成で計60名の学校生活。卒業後は社会人としてそれぞれの道を歩んでいる。そして歳月は流れ平成31年3月18日、県内外の仲間14名が、ホテル日航高知旭ロイヤルで60年ぶりの嬉しい再会が出来た。翌日母校を訪問、横畑校長との面談も叶ったことであった。

母校の創立110周年の式典に83才で参加し、今

年は85才である。機械科仲間達の近況がわかっている数も20名程となり、去年には2名の他界もあり、クラスメイトの多くが人生を卒業生してゆき寂しさはいなめない。

（4）安芸線通学の頃

安芸郡芸西村西分生れの私は、高知工業高校への通学は、土電の安芸線西分駅から後免まで、後免から市内電車ではりまや橋経由棧橋通り2丁目の学校まで、片道1時間余りの時間を要した。高知市内や下宿生は別として、国鉄を利用し大豊から高知駅へ、西は須崎から高知駅へ、又郊外からのバス通学も多かった様に思う。芸西中学から工業高校機械科へ私と岩本 宏君、他の科と合わせて5名が入学し卒業している。

私にとって通学時間は有難く、車内での往復を読書で楽しむことが出来た。通学当時を振り返ると、安芸線の電車内で母校の先生とよく顔を合わせた。赤野駅から化学科の小松一夫先生、月見山駅からは、立仙啓一先生が通われていた。詩人であり特に酒好きの立仙先生と、帰りの終電車で同乗した時など、詩をつぶやく酔芸に出会い、大変面白かった事が今でも鮮やかに思い出される。

（5）港六社と母校、そして芸西村の縁

私達が高校卒業前後の時代は、港六社と呼ばれた有力企業が、浦戸湾の利便上から棧橋通り電車終点地の周辺に立地して居り、煙突から昇る煙は復興のシンボルの様な存在でもあった。

①日本セメント②東洋電化 ③宇治電化学 ④南海化学 ⑤神戸製鋼 ⑥東京製鉄があり、港六社の中で、昭和59年と62年に⑤と⑥の両社が環境問題その他の状況から撤退した。この企業群は、私達母校にとっては化学、鋳工業の習学技術とのかかわりがあり、卒業生の就職先としてもお世話になったと思う。



大元政一郎氏

港六社の中でも、母校と関わりが深かった会社は③宇治電化学で、芸西村出身の大元政一郎氏（T9年電卒）は、工業高校教諭を務めた後、大阪の宇治川電機での要職を経て帰高。西山亀七氏等と現在の宇治電化学工業(株)の設立に尽力した。



川久保友一氏

川久保友一氏 (T15 年電卒) 香南市出身だが、大元氏に追随し③の発展に貢献。母校同窓会会長 2 代目を務めた。

又、芸西村出身の都築 暹氏 (関西学院大) がいる⑤神戸製鋼所本社の経営者と大学が同期、相撲部で活躍した。親交が縁で同社関係の要職を務め、高知工場立地の尽力や神鋼電気等の社業発展に尽力された。②東洋電化の清遠幸男氏 (京都大学卒) は、芸西村出身で、私が卒業後にご指導を頂いた方である。



小野川秀太郎氏

港六社とは無関係であるが、芸西村出身の小野川秀太郎氏 (東洋大学卒) は、工業高校教諭で国漢、文学、修身を担当、剣道 4 段。昭和 20 年陸軍少尉の秀太郎氏 (33 歳) の若き戦死が惜まれる。

(6) 卒業し地場企業ミロクに就職

昭和 32 年卒の私達機械科 60 名は、拡充期の県外企業の求人にも応え、社会人としてのスタートを切った。私も 6 人の仲間と東京企業入社を考えていたが、諸事情により県内就職となった。当時は、協和や鈴江の農機製造、造船、港湾建機企業等が活況であった。私は捕鯨砲と猟銃を製造する従業員 70 名程のミロク工作所に就職した。この企業には、母校の 2 年先輩の井戸豊晃 (S29 年機卒・創業者のご子息、後に社長も務めた) 伊藤智章 (S29 年機卒捕鯨砲や銃器設計) の両氏が活躍されていた。私の入社 2 年後に山本忠志君 (S34 年機卒) 3 年後には和田宣郎君 (S35 年機卒) 等に続き後輩達が入社した。

又、母校の久松 勉先生も退職後の一時期ミロクで役員をされていた。社名が初期のミロク工作所からミロク製作所となり社業発展と共にアメリカのブローニング社や、ベルギーの FN 社と連携が進み、私も関連企業のミロク機械(株)製造部長を最後に定年までお世話になった。

定年後も趣味だったクレー射撃競技や狩猟も続け 60 余年のライフワークを楽しんだ。

昭和 63 年 (1988 年) の高知工業高校 75 周年誌の賛助広告に協力し、卒業生名簿を載せた。ミロク製作所、ミロク機械等関連企業には、私達 56 名

の卒業生の名を掲載出来て嬉しく思った。発展するミロクが、製銃技術を高める上で特殊な専用機の必要から設備投資と共に、県内で銃身の穴を加工するガンドリルマシンの製造を、山崎技研の山崎圭次社長にご協力頂いた。当時、内燃機の製造



山崎圭次社長

等で企業を発展させていた山崎圭次社長は、母校高知工業高校で教鞭を取られていた方でもある。その後、昭和 46 年に起こした「高知生コン事件」は驚きの行動で話題となった。年月は流れ山崎圭次氏の指導や薫陶を受けた奥田幹雄氏 (S34 年機卒) 大和正

幸氏 (S34 年機卒) 中島豊明氏 (S34 年機卒) 等に私も加わり母校卒業生や関係企業のメンバーの呼びかけで、平成 22 年 (2010 年)、桂浜坂本龍馬記念館 (新館) の玄関近くにく「浦戸湾の碑」を建立した。振り返ると、このご縁も不思議な絆を感じるのである。

私はミロクを定年退職直前の平成 7 年に高知市議選に挑戦し、以後平成 23 年まで四期 16 年市議会で活躍することが出来た。

(7) 母校卒業生のアーティスト達

10 年前、母校の創立 100 周年記念誌の編集に、高知市議を務めたこともあり、母校卒業生で政治活動をされた人達の群像を執筆紹介させて頂いたが、今回アーティスト関係にもふれてみたい。

◇絵画関係

真垣武勝氏 (T10 年化卒 1921 年) (故)

小松益喜氏 (T12 年電卒 1923 年) (故)

上記二人は油絵画家で有名である。

画家の奥谷 博氏は母校の OB ではないが工芸科の美術を指導された。



渡辺満稔(一八大)氏

渡辺満稔 (一八大) 氏 (故) 絵画、彫刻、彫塑家として知名度高く、母校にて教鞭をとり、後輩を育てすそ野を広げた方である。



武内光仁氏

武内光仁氏（S41年化卒1966年）渡辺先生のご指導が励みとなり、油絵で活躍。前衛土佐派と呼ばれ、個性あふれる作品を数多く出展し、心象作家協会その他受賞等で大きな足跡を残す。現在、故郷の南国市白木谷に、現代白木谷美術館を開設し気をはいている。

◇工芸・彫塑関係



大野良一氏

大野良一氏（S43年芸卒1968年）渡辺満稔先生の指導に大きく影響を受けたと思われる。銅像や工芸作品で活躍。坂本龍馬のシェイクハンド像や最近では図書館オーテピア玄関に寺田寅彦像を建立。銅像以外では、寺田寅彦の科学眼に触発されてか迫力ある作品で知られる。



西本忠男氏

西本忠男氏（S29年芸卒1954年）（故）油絵を主とし県展などで活躍。後半には彫塑の作品を多く手掛けた。彼と私は山岳会で親交があったが、惜しくも他界された。



池内卓也氏

池内卓也氏（S53年土卒1978年）香南市で鉄工所を経営しながら出展等で活躍。素材の鉄の加工や、溶接の技術を生かして工芸を手掛けている。



山本梨花氏

山本梨花氏（里花S51年イ卒）平成19年～令和3年（2007年～2021年）迄の15年間、母校のデザイン科長として指導にあたり、教諭として在職中やその前後を通し多くの受賞歴がある。令和4年アクトランド北村興産に入社。活躍されており、期待したい。

川崎太一氏は工芸科で教鞭をとりご指導下さった方である。

◇写真



野町和嘉氏

野町和嘉氏（S40年機卒1965年）写真家として国内外での知名度が高く、世界各地の民族や秘境風景等の写真集を数多く出版しており、その活躍ぶりは母校の誇りである。（令和5年7～9月県立美術館で写真展）

松村一位氏（S16年土卒1941年）

島総一郎氏（S27年建卒1952年）

お二人は地元で活躍の写真家である。

◇詩歌・文芸

母校で教鞭を執られていた立仙啓一先生は、詩人で知られている事を前記でふれた。



嶋岡 晨氏

嶋岡 晨氏（S25年建卒1950年）母校OBの第1人者として詩や文学界で巾広く知られ、文芸誌など数多く出版し活躍されている。

その他下記の方達の活躍がある。

橋田一夫氏（S11年建卒1936年）

清水峯夫氏（S24年建卒1949年）

野村土佐夫氏（S26年電卒1951年）

林 嗣夫氏（S29年電卒1954年）

片岡文雄氏（S40年化卒1965年）

長尾 軫氏（S40年化卒1965年）

佐藤寿良氏（S40年土卒1965年）芸西村出身、県職にあったが、「龍馬と芸西村の海援隊士やその他多くの海援隊士」を研究。労作3冊出版し、県学術出版賞を受賞。その功績は大きい。母校同窓会では〈海援隊士について〉講演された。現在は県外居住と聞いている。

以上ジャンル別に、荒削りながらご紹介させて頂いた。行き届かず欠落の方にはお許し願ひ、母校OB現役の文筆に期待したい。

余談ながら、私の在学当時の辻 至誠先生や村山 保先生が高知歌人詩に出詠されていた。

私も高知歌人や温石誌の同人として、40年余り短歌に親しんでいる。又同級の松田英孝君（S32年機卒在京）も、ひろむ名で俳誌〈鴉座〉を主宰し、活躍している。

（8）母校卒の政治家群像

戦後の母校発展に尽力下さり国政の場で、竹内綱、明太郎血筋の吉田茂総理が、一方参議院議員の寺尾 豊氏が活躍された。

武内則男氏（S52年土卒1977年）にふれるが、私と高知市議を共にした期もある。平成19年（2007年）国政参議に当選。その後、平成29年（2017年）立憲民主党の四国比例で衆議院議員当選1期務めた。現在県内の組織充実に励んでいる。



母校の100周年で筆者と武内参院議員（右）

母校の政治家群像に付いて（創立100周年の頁）紹介させて頂いたが、県議には、①渡辺慶太郎氏（T12年電卒）②大村之彦氏（S16年化卒）③原 皎氏（S21年電卒）④元木益樹氏（S25年化卒）⑤梶原守光氏（S29年機卒）⑥川添義明氏（S30年土卒）⑦東川正弘氏（S32年建卒）⑧谷相勝二氏（S36年化卒）等8名の県議会議員としての活躍が記憶に残る。現在は退陣されていて、故人の方も多し。



依光美代子氏

依光美代子氏（S30年化卒1955年）は香美市市長選に県議が挑戦することとなり、県議補選に連動、香美市議を退き出馬。令和4年4月当選。令和5年に再選を果たし女性県議として活躍が期待されている。



程岡 庸氏

令和5年 秋の地方選挙、土佐清水市市長選に程岡 庸氏（S52年電卒）が当選され、衆望を集めている。



大田芳男氏

高知市議選では大田芳男氏（S53年電卒）が当選されて活躍されているので紹介させて頂くと、かつて私も高知市議会に4期16年在籍した仲間達の会派を受け継ぐ、現在の「自由民主党・中道」の最大会派に加わり、昨年末高知市長となった桑名龍吾氏の市政運営を支えている。

（9）終稿にあたり

時代の流れは早い。私の卒業から今年で67年で85才の老残となった。この間には母校の校長や教員も、又同窓会長も時代のバトンを引き継いで来られた。卒業同期の相撲で知られる早川紀夫君が（H11年～H19年）の第九代同窓会長として尽力下さったが、その後宮地、包国会長のバトンを受け、現在は右城 猛（H31年より）第一コンサルタンツ社長が同窓会を牽引下さっている。昨年の出版著書の贈呈も受けるなどご配慮に感謝している。



右城 猛氏

教学の内容も新しい科学の進歩に歩調を合わせ、AIその他の新時代のテンポは早く、一方人口減少の時代も注目対応が課題だ。私達の世代は今や赤錆びの世代であろう。

現在高知県には、高知工業高等専門学校や高知工科大学が開校して新たな歴史を刻んでいる。

時代変化の中で、母校は建学精神と伝統の年輪を重ねており、確かな歩みで更に充実発展することを願っている。

創立110周年誌発行に、私の学生時代を振り返っての拙文を、今会報で一部校正や加筆し掲載していただき、心より感謝申し上げ終稿とします。

『学びに感謝』



武内 則男（土木科 昭和52年卒業）

◇はじめに

多くの卒業生（同窓会会員）が、様々な思いと目標を胸に抱いて高知工業に入学、卒業し活躍されている中、寄稿の機会をいただいたことに感謝申し上げます。

◇入学をめざして

私の故郷（幡多郡三原村）は、360度山に囲まれた盆地で、中村（現四万十市）に出るにも、宿毛・土佐清水に出るにも道路は狭く、カーブも多く、ガードレールも満足に設置されておらず、転落事故も発生するなど危険が伴う道路状況でした。実は、母も転落事故を起こしましたが、落下中に窓ガラスが割れたことで無事に脱出することができ、大事に至りませんでした。

当時、漠然とではありますが、兄が宿毛工業土木科に在学していた影響もあり、トンネルを掘ったり、橋をかけて、道路をつくりたいと考えるようになり、受験前の三者面談で、担任の先生（川村先生）からプッシュしていただき、高知工業土木科を受験することとなり、1974（昭和49年）4月、高知工業の門をくぐりました。

◇3年間の学び

無事に入学式を終えて、本格的に学びと暮らしがスタートしました。

土佐弁や初めての下宿生活に戸惑いながら、ほぼ1年間は学校と下宿を往復するだけの生活でしたが、徐々に友人も増えて学業に励みました。

測量実習やテストピース作成しての圧縮試験、水理や力学など基礎知識の取得に四苦八苦しながらも新鮮で仲間との共同作業は大変楽しかったです。

クラブ活動を巡っては、中学時代に腰を痛めたこともあり、スポーツクラブは断念して応援団に入部しました。

当時の団長は、浜田孝男先輩（昭和50年4月土木科卒業・現いの町議会議員・元いの町職員写真②）で、三年生はとにかく怖かった（優しく）です。（笑）



写真②

私はというと二年・三年と副団長となり、活動を楽しむ中、山本三四年団長（昭和52年4月土木科卒業・現高知市上下水道事業管理者・写真③）の発案で、後輩に何かを残そうということになり、団旗をつくることになりました（上がらずの団旗ではありません（笑））



写真③

ご支援いただいた学校関係者、当時の在学生の方々に感謝申し上げます。（写真④）



写真④

また、当時は西日本一の大きさを誇り、あげるのに大変苦労し、少林寺拳法部に力を借りて二本の支柱を駆使して高知市営球場で野球部の応援をしたことは忘れることができません。

3年間の学習が試される試練に挑戦。

◇高知市役所で社会人をスタート

最初の配属は、経済部耕地課。1976年の台風17号によって高知市は甚大な被害を受け、災害復旧に向けて多忙な状況にあった。



写真⑤

日中は測量、夜は設計をこなし発注から現場監督、竣工検査といった仕事を繰り返し多忙な日々を送る中ではありましたが、先輩方（技友会）のご配慮により設計の基礎となる赤本（農水省）、黄本（建設省）を教科に学習する研修に参加（7日間のかんづめ）するために東京都小平市にある建設大学（当時）に行かせていただくなど、技術職員としてのスキルアップのために派遣していただいたことに感謝です。

月日が流れ、1983年4月、市民の「命の水」を守り、「安全・安心・安定」供給という使命を担う高知市水道局配水課に異動。

新たな技術に携わる中、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災は、まだ皆様の記憶に残っていることと思います。

発生から、すぐさま情報収集に入り、二日後には神戸市民に命の水を届けるべく応急給水隊を派遣致しました。派遣は数カ月に及び、私も3度神戸入りし復興に携わり（実はその経験が後の東日本大震災への対応に役立つ）ました。

給水箇所は、病院・避難所・住宅エリアなど多方面にわたりました。小雪がちらつく寒い中、ボウルや洗面器を持って並ぶ市民の姿は今も目に焼き付いています。「これで薬が飲める。ありがとうございます」といった言葉や医療関係者からの感謝の言葉を聞き、改めて市民の命の水を守り届ける、今の仕事に誇りと重い責任を背負っていることを痛感致しました。（写真⑥）



写真⑥

*高齢の女性がポリタンクを持って給水に訪れ、マンションの8階まで階段で届けたときは、さすがにきつかったです（笑）

また、復興の過程において、多くのボランティアが被災地支援に訪れ、後のNPO法の成立へと繋がりが今に至っています。

2002年8月、25年と5カ月務めた高知市役所を退職。

◇退路を断って政治の道へ

公務員は、民間企業のように在籍したまま選挙に出ることはできません（地方公務員法）したがって退職して出馬するしかないというリスクはありましたが、道路の改良、区画整理事業を軸とした街づくり、命の水を守るための法整備など政治の世界でしか解決できないことを経験し、高知市議会議員選挙に挑戦し当選させていただき、政治活動がスタート致しました（2003年4月）

先輩との出会い（岡崎洋一郎高知市議会議長・昭和32年機械科卒業・写真⑦当時）は、新米の私にとって、的確なご指導をいただくなど支えとなったことは言うまでもなく感謝しかございません。



写真⑦

技術屋としての経験を基に高知市の事業の前進にかかわると同時に、全く違う福祉分野でお母さん方と必死に取り組み重度心身障碍児者のB型通園事業を当時の国立高知病院において実施にこぎつけたことは、政治の世界に身を置いて良かったと感じた出来事でした。

一期4年で国政に挑戦。

◇2007年7月に実施された参議院通常選挙高知選挙区において、166,000票余りをいただき国政の場に送っていただきました。

2009年、ミッシングリンク（高速道路の空白地帯）の解消に向け、議連を立ち上げ、事務局長に就任し政府与党内をまとめ、2010年これまで凍結されていた高速道路の新規事業化（芸西～安芸西道路）にこぎつけました。

これも、土木技術者としての経験が買われての抜擢であり、高知工業での学びと高知市役所での経験があったからこそです。

年が明けた2011年3月11日14:46分、三県（宮城・岩手・福島）を中心に東北地方を襲った大震災は、国民に深い悲しみと衝撃をもたらしました。

震災対応に追われる中、国対に届け出をしたうえで自ら運転し、4月5日物資の輸送や、人の移動に重要な役割を担う東北自動車道を走り仮復旧の状況を見ながら岩手県を訪問。12日から14日にかけて、宮城県仙台市、塩釜、女川、石巻、福島県いわき平市などを視察し、写真を撮り、自治体の要望を聞き、この目で現場を見てきました。

活動中に、国対から予算委員会で質問に立つようにと電話が入り、震災から39日目の4月18日、参議院予算委員会においてテレビ入り集中審議が開催されました。

被災地の議員でもない私に対し、技術職の経験と、視察で得た貴重な現場の状況を基に、論戦に挑むようご指示いただきました。

政府に対し強力に要請した一つは、震災の経験を基に、「命の道」八の字ルートの早期整備促進（後に「安芸道路・窪川佐賀道路」の事業化につながる。）

もう一つは、住民の生死にかかわる「命の水」を送る送水管、配水管の耐震化に対する政府の支援拡充（後に全国の水道事業体による耐震化が進む）など、東日本大震災の教訓を基にインフラ整備が進められ現在に至っています。

2012年からの一年間は、厚生労働委員長を務めました。

2013年に落選～2017年衆議院議員に

◇2017年10月に実施された衆議院議員選挙において、立憲民主党四国比例候補として立候補し、再び国政の場に送っていただきました。

2018年、水道法の改正案が通常国会に出されました。

条文の多くは、持続可能な水道事業にしていくために、国・都道府県・自治体の役割を明確にして、事業を進めていくものであり、その方向性は正しいものでした。しかし、命の水を守るために受け入れることのできない条文（コンセッション方式の導入）が入っていたことで、修正・廃案に全力で動きました。

何故なら、コンセッション方式は自治体水道が

保有する運営権を、外資を含む民間企業に売ることができるものであり、公営企業（自治体水道）が本来果たすべき住民の命を守るために安全・安心・安定的に水を届けるという役割と責任を放棄するものだからです。（ヨーロッパでは、料金が何倍にも上がり、水質は悪化し、パリをはじめ多くの自治体で再公営化が進んでいます）

衆議院本会議において反対討論に立ちましたが、与党の賛成多数で可決されました。引き続き、あきらめず全国の自治体が、市民・県民・国民の共有財産である命の水を守っていけるよう頑張っていきたいと思います。（写真⑧）

◇むすびに

卒業から45年、土木職としての社会人生活。高速道路の事業化、横瀬川ダム・和食ダムなどの事業化、南海トラフ地震対策の推進など、政治の世界で奮闘することができたのも、高知工業高等学校での3年間の学びのおかげです。

『工業ハ富国ノ基』ありがとうございます。

そして、母校の関係者すべての皆様に感謝申し上げます。



写真⑧

『高知工業高等学校を卒業して31年』



西原 功起（建築科 平成3年卒業）

1, はじめに

私は高知工業高校建築科を卒業し今年で31年、早や50歳になろうとしております。現在は四万十市古津賀にて「サイバラ建設株式会社」の代表取締役社長を務めております。

弊社は、私の父が1960年（昭和35年）に旧中村市新町にてサッシ・シャッター・ガラス工事業を開業し、のちに時代とともに変化する顧客ニーズに対応すべく建築鉄骨工事、建築一式工事、土木一式工事と変化してきました。

2020年（令和2年）にはおかげさまで創業60周年を迎えることができました。

この度は母校の創立110周年記念誌への執筆依

頼を受け、大変恐縮ですが私の半生をご紹介します。

2, 高校入学の動機

4人兄弟の上から3番目の二男の私は、なぜか幼少の頃から父に「跡継ぎは功起」と言われ続け「将来はこの会社を継がないといけない」と漠然と思っていました。

物心が付いて「会社を継ぐ」と決断したときに何をすべきか考えました。中学卒業後は親元を離れ早く自立すること。工業高校の中でも県内トップレベルの高知工業で建築を学びたい、と思い入学を強く希望しました。





当時は郡部から高知市内の高校を受験するには人数制限があり狭き門でした。中学の先生からは合格ラインぎりぎりの私に別の進路を進められましたが、自分の将来を決断していた私は猛勉強の結果、無事に合格し入学することができました。

3. あっという間の高校生活

入学準備をしているとき自分で決めた道とはいえ「これから親元をはなれ下宿生活は大丈夫か」「仲のいい友達とはできるだろうか」「幡多弁と土佐弁の違いで言葉は通じるだろうか」などと、高校生活の期待より不安がどんどん大きくなっていきました。

しかし、心配していた不安は入学後すぐに解消されました。それは新しい環境での忙しい毎日と学校の先生や仲間との素晴らしい出会いがあったからです。

下宿先の大家さんは親切で、先輩や同級生とともに助け合い、とてもお世話になりました。学校では3年間クラス替えもなく一緒に過ごした建築科の同級生。2年に一度の体育祭では、応援練習に励み息の合ったパフォーマンスができたことは、クラスの絆がより強くなりました。また同じ目標に向かって汗を流した工業剣道部のメンバーや他校の剣道部の仲間。剣道部では毎日朝練から授業終わりの稽古や春・夏にはとても厳しい県内合同合宿、県外遠征。試合成績は良い結果は出せませ



んでしたが間違いなく心身が鍛えられたと思っています。

とても楽しく充実した毎日で「高知工業に入学してよかったなあ」としみじみ感じたことを思い出します。

4, 卒業後の進路

当時は、景気も良く学校に県内外の大手建設会社から多数求人が来ていたので就職を考えていましたが、両親の勧めもあり近畿大学工学部建築学科に進学しました。

大学ではより専門的な建築を学びました。例えば材料力学、都市計画、環境工学等。特に具体的に建築物のプランニングから意匠設計、施工計画を学んだことが現在の仕事につながっています。また教職課程を受講し、大学4年生時に高校の同級生と約束した母校での教育実習を実現でき、当時お世話になった先生の指導の下、実習できたことは非常に貴重な体験でした。

大学では勉強だけでなく高校より続けてきた体育会剣道部に在籍し稽古に励みました。大学の部活動は高校と違い、稽古、合宿、試合の運営などすべて学生が行うので色々な経験ができました。この経験は現在の会社運営につながっているように思います。

また大学で知り合った同級生、先輩や後輩は私にとって高校生時代と同様に大きな財産となりました。今でも連絡を取り合いお互いの情報交換や意見交換、時には仕事のお付き合いをさせてもらっています。

5, 社会人として

大学卒業後は全国規模の中堅ゼネコンに就職しました。東京か大阪での勤務を希望したのですが、会社からきた通知には「北海道支店の勤務を命ずる。」とあり大変驚きました。

ここからの4年間は私の人生にとって「建築施工管理技術者」としての基本と人間的に最も鍛えられた厳しい時期、環境でした。まず学生から社会人になって状況が一変したこと。次に職場が異常に忙しかったこと。何より温暖な高知と違いとにかく寒い。冬の北海道の生活は厳しく朝起きて出勤前に除雪、現場について除雪、宿舎に帰って除雪。最高気温もマイナス気温が続きます。

一番初めの現場は郊外型のショッピングセンターでした。現場監督見習いとして何をしていいのかもわからず、朝は早くから現場に向かい夜は11時過ぎに宿舎に戻り、フジテレビの「プロ野球ニュース」を見ながらビールと晩御飯。布団に入ったと思ったら朝。そして、今さっき脱いだばかりの作業服を着て現場への毎日。

高校、大学時代ではなかった「ホームシック」

を社会人一年目で感じるようになりました。気持ちが弱くなると、これまでの厳しい剣道の稽古を思い出し「負けてたまるか！」と自分自身に気合いを入れました。

初めての現場を何とか気力で乗り越え、無事竣工を迎えた時は感無量でした。途中でやめることなく最初から最後まで現場に関われたことが、自信となり今後の現場監督業務での基礎となりました。

それからは北海道支店を拠点に、ダンボール2箱と作業服とともに転勤し、関西支店、東京本社勤務を経て、最後は北海道支店にて退社することになりました。この間に携わった建築物は商業店舗、特別養護老人施設、住宅、マンション等と色々な思い出があります。

6, 地元に戻りそして今

26歳で地元中村に戻りサイバラ建設(株)に入社しました。36歳で代表取締役社長に就任し13年になります。この間はサラリーマンから経営層へ立場が変わったことでたくさんの試練がありましたが、社員や協力業者の皆さんに支えられ今日に至っております。

弊社のモットー「生き甲斐のある社会づくりにChallenge」のように家庭、会社、地域、そして社会が幸せで豊かになるように少しでも貢献できる人間でありたいと思います。

先日、久しぶりに建築科同級生が集まり同窓会を開きました。みんなそれぞれの分野、立場で活躍しており、見た目がかなり変わった友人もいましたが中身は全く高校時代と変わらず楽しい時間を過ごすことができました。今でも仲良くお付き合いしてくれる同級生に感謝の気持ちでいっぱいです。

幼少のころや中学卒業時に、現在の50歳の自分自身を想像はしていませんでしたが、今の私を作った環境は高校生活での3年間がとても影響しています。あらためて、中学卒業時に親元を離れ高知工業高等学校に進学できて良かったと思います。と同時に歴史ある高知工業高等学校卒業生として誇りに感じております。

結びに高知工業高等学校の益々のご発展をご祈念申し上げ、110周年記念誌の寄稿とさせていただきます。

ありがとうございました。

『100周年から10年』



寺川 湖砂 (情報技術科 平成6年卒業)

110周年おめでとうございます。
心よりお祝い申し上げます。

普段より同窓会で青年部長として活動しているため、役員会や理事会など母校に出向くことがあります。

ここ数年いつ出向いても、とても気持ちのいい挨拶の声がとんできます。

こちらもちろん挨拶を返します。

つい最近、生徒会取り組みをきく機会があり、その中の話で挨拶運動に取り組んでいるということでした。

生徒会の取り組みも、すばらしいと思いましたが、実践してくれる生徒の皆さんも素晴らしいと思います。

私が、はじめて、同窓会に参加したのが創立100周年の2年前。

100周年準備期間になりますが、その時、教頭先生をされていたのが、学生時代(情報技術科)の恩師である松岡 博先生だったためか、自宅に「学校まで連絡してほしいです。」と連絡があったので折り返すと「話がある学校まで出てきてください」といわれ...

そこからは、もちろん100周年準備のお手伝いです。

その時はなにもわからず、先輩(ずいぶん年上)について、協賛募金・協賛広告を集めました。あまり役にもたってなかったと思います。

この時の100周年記念誌にも、なぜか寄稿と言われ拙い文章が残っています。



筆山除草作業

100周年事業も無事に終え、仕事も終わりかと思えば、当時の同窓会事務局長が、また情報技術科でお世話になった澤 俊雄先生でしたので同窓会の理事に入れといわれ(笑)

あれから10年。

10年といえば長いですが、あっという間の10年だったように思います。

大きな行事としてはありませんでしたが、2015年に青年部設置がきまったため青年部副部長となり活動していくこととなりました。

2017年1月には筆山にて青年部設置記念植樹式典を行いました。筆山は校歌にも謳われており創立100周年の記念植樹もしています。

この年から青年部の活動が本格的にはじまりました。

活動としては4月に行われる同窓会総会及び懇親会の司会進行9月、就職希望生徒への模擬面接(学校と協力し行います。)

1月、筆山の除草作業(記念植樹周辺を生徒と共に除草清掃します。)

この3本柱を主な活動として毎年おこなっています。

昨年、一昨年はコロナ渦ということもあり学校行事や同窓会事業も中止や延期が多くをしめました。

今年行われた110周年記念式典もどうなることかと心配しておりましたが、無事開催することができ、大変嬉しく思っております。

100周年時と110周年時で、同窓会理事、役員も入れ替わりがありました。

青年部も概ね50歳までという規定がありますので、私も、あと2年の間に後輩に役を譲り、4年間で引き継ぎをと思っております。

同窓会と聞くと敷居がたかく感じるかもしれませんが、異業種の方、先輩後輩と活動していると多くの気づきがあり、個々の成長にも繋がると思います。

軽い気持ちで青年部に参加してみませんか？



青年部記念植樹の桜

『どう生きて どう活かすか』



浅利 友美 (総合デザイン科 1期生)

日本と海外を行き来しながら、商業デザインやエンターテインメント事業を展開。

2014年～ デザイン事務所『ASARI CREATION.』設立。

2016年～ プノンペンへ進出。映像制作事業『S.A.H.Lab』設立。

2020年～ サウナカーの制作・販売ブランド『TOY101』設立。

●ごあいさつ

開校110周年おめでとうございます。

100周年のシンボルマークは、当時高校生の私がデザインし、採用していただいた思い出があります。それから更に10年の月日を経て、こうして寄稿させていただくことができ、卒業生として大変光栄です。

●高知工業という環境

私の父は若くして自分の店を持ち、母と共に理容業を営み続けています。全国の頂点へ挑み、腕を磨く父の姿に憧れた私は、同じように輝くトロフィーを欲しがる子どもに育ちました。ピアノ、書道、絵画、少林寺拳法など、幼少期より多種多様な芸の道に励みながら、経営者の道を漠然と描いていました。

職業学校とも言える高知工業は、そんな私にとって最高の学び舎でした。技能や実務を指導してくれる専門分野の先生は、社会に出てからの対応に極めて近い厳しさがありましたし、やると決めたことにはとことん付き合ってくれる頼もしさがありました。3年間を共にするクラスメイトとは切磋琢磨し、時には讃え合い、時には才に嫉妬する、そんな刺激の中で生まれる絆は、普通校とは違った良さがあるように感じます。

良い意味で“欲深い自分”に出会えることができた高校時代は、今でも大きな糧となっています。

●21歳で独立

計画より早まった独立でしたが、きっかけは母の急病でした。就職先も1年で辞職。家族のサポートをしながら自由に身動きが取れるフリーランスとして、デザイン事務所を設立しました。

年齢も実績もまだまだ若かった私に、会社の経営に関わるブランディングや、ブランドの顔となるトータルデザインを任せてくださったクライアントの心意気には、心から感謝しています。

唯一、私が仕事を受ける上で決めてあるルールは、クライアントと直接やり取りのできない下請けの案件は、基本的にお断りをしていることです。相手の歴史や思いを知り、その業種や仕事ぶりに触れ、その人から感じる空気感すべてを制作に生かさなければ、説得力のあるデザインとはならないからです。そして、相手の考えをただ素直に聞



▲青果市場のブランド『元気な畑のごちそう』
トータルデザインの一部



▲文旦農家オリジナルブランド『おおきたばあちゃんの、おくりもの。』トータルデザインの一部

くだけでは唯一無二なものにはなりません。デザインによって、その企業にどう影響があるのか、その先の顧客や社会にどうアプローチしていくのか。心理的誘導とその効果までをも未来形で計算してこそ、商業デザインのプロの仕事だと思っています。最終的なビジュアルは、数学でいうと最後の答えの部分であって、たった1割ほどの比重。あとの9割は、その答えを導くまでの計算式と言え、核の部分の企画力だと考えています。

今年で独立し9年が経ちます。クライアントと二人三脚で歩いていく案件とはまた別に、私の興味のある分野や、社会的にアプローチしていきたいテーマをコンテンツビジネスとして捉え、新しい自分だけのブランドを作っていくという新たな創作意欲を持っています。

自分がこの世を去るまでに、自分が生み出したものが広く世に遺っていくような仕事をしていきたいです。

●第2のホーム カンボジア

プノンペンへ進出した日本企業との出会いを機に、24歳で初めてカンボジアを訪れました。

世界遺産として有名な、首都から離れたシェムリアップの遺跡“アンコールワット”では、その壮大な歴史と未知なるパワーに感激したことです。ですが、何よりもカルチャーショックだったのは、首都プノンペンの輝かしい姿でした。ひしめく高層ビルや活気溢れる都会的な町並み、国の平均年齢が24歳という驚異的な数字、国際社会と渡り歩こうとする若者の勉学への意欲レベル、歴史的悲惨な過去を乗り越えたうえにある笑顔溢れる人々

の暮らし。“貧困・危険”といった日本のメディアイメージを覆す首都の姿に、一瞬で心を奪われたことを今でもはっきりと覚えています。

決して手を付けられない崇高な歴史的文化や暮らしを保ちながらも、ある意味では日本よりも都会的と言える一面を持ちつつ、産業としてまだ埋まっていない席が大いにあるという点。仕上がり切っていない、混沌とした違和感だらけのその姿は、アーティスティックであり、未来形の思考と創造性を掻き立てられる貴重な国だと感じました。

そのパワーに触発され、試行錯誤の末、プノンペンで映像制作の事業をスタート。アメリカ人やシンガポール人の制作スタッフで固め、ハリウッド映画の予告映像のようなテイストを強みに、企業CMやウエディングPVを手がけてきました。アンコールワットの遺跡の中で撮影できる観光プランでは、すべてのスタッフが現地人であるからこそその成功だったと思います。

他国に踏み入れ、商いをさせていただいているという謙虚な気持ちと、現地人同士にしか分からない感覚を尊重すること、その上で、自分たちの産業によって、その国が少しでも豊かになってほしいと願いながら共に暮らしていく大切さ。日本



▲スカイバーから見下ろしたプノンペンの夜景



▲世界遺産アンコールワットで撮影したウエディングフォト

と他国を通いながら仕事をする中で学び得たことです。これは、観光では感じ取れない貴重な経験。今も進行中のさまざまな企画を、面白い仲間たちと成功させ、カンボジアに新たなエンターテインメントを生み出していきたいと思っています。

●サウナカーブランド

COVID-19 感染拡大により、世界的に大きく暮らしが一変し、私も日本で閉鎖的な暮らしを余儀なくされました。

無機質な毎日に飽きてきた頃、仲間と共に“サウナカーの製造・販売”の事業を立ち上げました。一変した暮らしから生まれた新たな価値観を逆手に取り、自然の中でプライベートサウナを楽しむことができる、楽々移動のサウナトラック。対企業とも取引ができるよう、DIY の域を遥かに越え、整備を担当する車屋・建築を担当する大工・意匠を担当するデザイナーの3本柱がタッグを組んだ、プロフェッショナルな製品を作り上げるブランドとなりました。



●子どもたちのために

“人と同じ”が居心地悪く、突飛な行動に制御のできない自分の性格は、組織や社会において生きづらさを感じる面もありますが、今こうした仕事に発展しているのは、そういった偏りがアシストした結果です。学生へ向けて授業をさせていただく機会では、人と違う部分にこそ光るものが隠れているのだと伝えます。空を、決められたかのように青く塗るにはまだ早いということです。なんでも簡単に情報が手に入るようになった今の時代、経験した気になってしまうことも大人でさえあります。実際に自分自身で経験・体感したことではないと説得力は身に付かないこと。その説得力は大きな武器になることも伝えます。

日本は一見、平和かつ優秀に見えますが、子どもたちの環境と考えると、とてつもなく閉鎖的で量産的。いざ国際社会に環境を移すと、大人でさえ遅れを取っていることに気がついていないシーンが多々あると感じています。

社会や政治、置かれた環境に嘆くその時間。それを、子どもたちと向き合う時間に置き換え、目の前の環境下でどう生きて何を得るかの意識の種を蒔いていくことの方が、ずっと有意義なことに思えます。

面白い大人がたくさんいる高知工業卒業生の1人として、今後も型に捕われない自由なクリエイティブを生み出し、子どもたちに多くの選択肢を残してあげられたら幸せです。



▲木材タイプと鉄板タイプの2タイプ

『入学から現在まで』



保川 明香里 (土木科 平成 30 年卒業)

1) はじめに

創立110周年、誠におめでとうございます。伝統ある母校のさらなる発展を心よりお祈りいたします。

2) 高知工業入学のきっかけ

某テレビ番組を観たことをきっかけに、当時の私は、建築科に入学しようとしていた。中学校の先生には、学力的にやめておいた方がいいと言われていた。

しかし、高知工業に入りたい気持ちが強く、建築科入学を試みてみた。結果は、残念ながら第一希望であった建築科には落ちてしまったが、第二希望である土木科へ入学することができた。

3) いざ入学

土木科には女性が少ないと聞いていたので、やっつけていけるか不安だったのを覚えている。入学してみると、過去最多の4人(自分含め)もいたので安心した。

今では、土木科に入学できて本当に良かったと思っている。

4) 勉強とサッカーの両立

私は、高校3年間勉強とサッカーの両立に励んだ。小学校1年生から続けているサッカーですが、部活に入ったことはなく高校3年生までクラブチームでサッカーをしていた。

所属していたクラブチームでは、社会人も在籍しているため、練習の開始時間が午後7時からと遅かった。なので、練習までの間コンビニのイトインコーナーで勉強をするなど時間を有効活用し、勉強とサッカーの両立を心掛けていた。

いつもサッカーを優先していたので、友達と遊んだ記憶があまりない。もっと高校生活を謳歌したら良かったなど今になって後悔している。

5) 体育祭

高校2年生の時、最初で最後の体育祭があった。この年はV30がかかっていたので、「絶対負けられない」という気持ちで取り組んだ。

体育祭では、男女の比率の違いから女子生徒にはハンデがあった。200m走だと男子生徒のスタート地点より40m前からスタートできるといったようなハンデだ。スポーツが得意ということもあり、これなら余裕で勝てるなど意気込んでいた。200m走に出ていた私は案の定、余裕で1着になることができた。

一番思い出に残っているのは、応援合戦と科別対向リレーだ。



写真-1 応援合戦

科別対抗リレーでは、私は2年生の1走目を担当し、緊張しまくりだったが、抜かれることもなく気持ちよく走ることができ、1位でゴール。

途中、優勝できるか怪しかったが、科別対抗リレーの点も大きいこともあり、見事「V30」を達成できた。



写真 -2 V-30

6) 最後の登校日

私は、卒業式で土木科全員の卒業証書を受け取る大役に選ばれた。その大役に抜擢されたのは、自分で言うのもなんですが、成績が良く、3年間皆勤であったからだ。笑

卒業式が近づいてきた頃、卒業式前の最後の登校日があった。私は、龍馬マラソンのお手伝いの疲れから、登校日を忘れ爆睡。そして遅刻した。これまで3年間皆勤だったのに1日遅刻したため皆勤賞を逃してしまったことを今でも後悔している。せっかく卒業証書受け取りに選んでもらった先生には、遅刻してしまって申し訳ない気持ちでいっぱいだった。

1年に1人は登校日を忘れる生徒がいるそうだ。残念なことに自分になってしまった。

7) 卒業後

卒業後は、株式会社建設マネジメント四国に入社した。入社当初は積算支援業務に配属され、現在は工事監督支援業務に従事している。分からないことも多く、自分で調べたり、上司に確認したりと日々奮闘している。

当社では、女性社員も増え、平成31年度から女性社員で構成された『建マネ小町』という活動をしている。女性ならではの考えや、女性が働きやすい職場環境になるような話し合い、現場見学や講習会に参加するなど、スキルアップを目指すなどいろいろな活動している。



写真 - 3 国道工事の現場打合わせ

また、高知工業卒業生として、毎年開催されている進路ガイダンスに参加するなど、就職するとき・就職してから思ったことなど、在校生に経験談等を伝えている。

そして、卒業後はサッカーを辞め、先輩に誘われフットサルを始めた。今年、高知県で開催された『第13回トリムカップ全国女子選抜大会』では、初めて予選リーグを突破し3位になることが出来た。



写真 - 4 技士会「土木女子」の港湾工事見学会参加



写真 - 5 トリムカップ第3位



東京支部（桂工会）

支部長 池上 博（昭和39年電気科卒）

台風とコロナで延期続きとなっていた総会・懇親会を今年5年ぶりに開催しました。

母校や故郷のことを伺い、昔話をして笑い、新しい話題なども取り上げ、何よりも対面で語り合えたことで久しぶりに充実した時間を共有でき大満足のイベントとなりました。

同窓会に参加することで、私たちは過去の友情と絆が大切で価値あるものとして、これからもお互いの近況を気遣いながら、参加者一同再会を誓って帰路に着きました。

この雰囲気来年はもっと充実させ、新しい仲間を迎えられるよう準備してまいりますので首都圏在住のみなさん是非ご参加を！

ホームページ公開中 URL:「桂工会」（PC/スマホで検索できます）





東海支部（南風会）

支部長 松本 幸平（昭和53年機械科卒）

令和5年度活動状況

- 5月30日 同窓会 総会へ出席（松本、久保内事務局長）
- 6月11日 小松工業高校 同窓会 役員との交流会（松本、久保内事務局長）
- 7月23日 東海支部（南風会）同窓会 総会 開催

総会は、4年ぶりに行われました。

姉妹校である小松工業高校本部より、藪中京支部会長、高田、北田様、高知工業本部より中野副会長に來名いただき開催しました。

記録的な猛暑の中、7月23日（日）に東海支部総会を実施しました。

また次の週には小松工業高校様の総会にも参加させて頂きました。

双方の県外支部としての悩み事として、参加人員の減少、運営していく費用、私を含め参加メンバーの高齢化により、縮小されていく現状を如何に打破するかが会の会話内容となってきた昨今です。



満100歳で逝去された、猪野先輩の新聞記事をバックに撮影（名古屋市）

- 7月30日 小松工業高校 同窓会 中京支部 総会出席（松本、久保内事務局長）
- 11月26日（日）岐阜県美濃加茂市に於いて東海支部 K&K ゴルフコンペ

4年ぶりのK&K ゴルフコンペを開催しました。天候にも恵まれ、皆さん好スコア？続出で楽しく終了しました。小松市から前乗り、長距離移動での参加された、小松工業同総会会長を含め小松工業のパワーは素晴らしいと感じました。来春計画していますので、高知工業同総会本部からも是非参加ください。





大阪支部（鯨工会）

支部長 小橋 壽也（昭和53年情報技術科卒）

令和5年度より大阪支部長（鯨工会会長）を任命されました。重責ではありますが同窓会が盛り上がっていくよう精進していきたいと思っております。

大阪支部（鯨工会）は毎年6月第3土曜日に総会を開催しています。

令和5年度総会（第44回）は、6月17日（土）11時30分から「ホテルビナリオUMEDA」で開催し、22名（同窓会会員19名、来賓／本部副会長、小松工業2名）の参加でした。

コロナ過で2回休会し、夕方からの開催を昼の開催にしましたが、同窓会会員の高齢化と若年層の非参加で、参加人数は減少傾向にあります。来年度は45回目の節目となる総会開催になります。同窓会会員に多数参加していただけるよう、鯨工会執行部で魅力的な同窓会を企画していきたいと思っております。

また、ゴルフ部がありゴルフコンペを開催していますが、今年は中止しました。

姉妹校である小松工業高校とは同窓会でも交流を図っており、隔年で支部総会に来賓としてお招きしたり、小松工業同窓会大阪支部総会に参加しています。



令和5年度活動報告

- | | |
|-------------|------------------------------------|
| ○R5年 3月 | 第45回 鯨工会ゴルフコンペ 中止 |
| ○R5年 4月15日 | 役員会開催 大阪支部（鯨工会）総会の打合せ |
| ○R5年 5月 3日 | 本部同窓会総会 出席 小橋会長
本部総会懇親会 出席 小橋会長 |
| ○R5年 6月17日 | 第44回大阪支部（鯨工会）総会開催 ホテルビナリオ UMEDA |
| ○R5年 10月14日 | 小松工業高等学校同窓会関西支部総会 出席 |
| ○R5年 11月 | 第46回 鯨工会ゴルフコンペ 中止 |

令和6年度活動計画

- | | |
|------------|--------------------|
| ○R6年 1月 | 拡大役員会 開催予定 |
| ○R6年 4月29日 | 本部同窓会総会 出席予定 |
| ○R6年 5月初旬 | 会長、副会長、役員会 開催予定 |
| ○R6年 6月15日 | 大阪支部「鯨工会」総会開催予定 |
| ○R6年 7月 | 役員会 開催予定 |
| ○R6年 11月 | 第45回 鯨工会ゴルフコンペ開催予定 |



安芸支部（芸工会）

支部長 黒岩 良行（昭和40年電気科卒）

本年5月、コロナ禍も5類に移行し、「芸工会」支部活動もやっと再開できるものと期待していましたが、当支部管内で、学級閉鎖、運動会・公民館諸行事の中止などコロナの影響が出てきた事から、2度に亘り役員会を開催して検討した結果、会員の高齢化等も併せ考えて、開催の気運が盛り上がりず、今年も支部活動を中止する事としました。

来年は、役員改選の年です。新役員の下、来年の活動再開を大いに期待しています。

令和5年度活動

- 5月3日 母校同窓会総会出席
- 7月 役員会開催
- 8月 役員会開催
- 11月 役員会開催
- 12月 忘年会開催予定



嶺北支部（吉野川会）

支部長 西村 行雄（昭和37年土木科卒）

嶺北支部の活動状況について

嶺北地域でも新型コロナウイルスが流行していたので、これまで3年間ほど同窓会活動を自粛してきました。予防接種の普及・浸透等によって社会全体の免疫力が高まり、本年5月から医療法上の扱いが2類から季節性インフルエンザ相当の5類に引き下げられ、徐々に落ち着きを取り戻してきたため、去る9月15日に理事会を開き同窓会活動を再開することになりました。

理事会では、今後の支部活動の内容や総会の日程について協議するとともに、支部長、副支部長、事務局長の三役員の交代について話し合いました。

本年度後半の活動計画では、①同窓会未加入者の調査・発掘 ②新たな支部活動の検討を進めるとともに、11月25日（土）開催予定の総会までに新役員候補者の内諾を得るよう取り組んでいくことを決めました。



幡多支部（波多愛校会）

支部長 福田 充（昭和44年建築科卒）

幡多支部（波多愛校会）は、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により本年度までの4年間例年6月に開催いたしております支部総会の開催を中止いたしました。

大変残念ではありますが、1年に1度の総会であり顔合わせを楽しみにしていただいている同窓生もたくさんいるとは思いますが、このような状況下である為に仕方ありません。

今後、新型コロナウイルス感染症が収束した時には皆さん元気なお顔でお会いできます事を本当に心待ちにしています。

どうか同窓生の皆様もコロナに負けず元気にお過ごし下さいますよう心からご祈念申し上げます。

また、来年こそは支部の活動報告ができます事を楽しみにして支部便りとさせていただきます。



物部川支部

支部長 丸岡 克典（昭和47年機械科卒）

新型コロナウイルス感染症の状況が落ちついてきた今、長いコロナ禍のトンネルの先にようやく光を見出した様な気がします。そんな中物部川支部は令和5年度総会を7月8日に23名の参加者のもと行うことができました。今後とも香美市、香南市、南国市の広域支部での会員増強を図り会員同士の交流を深めてまいります。

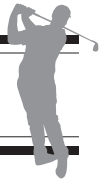
令和5年度事業計画

- 5月3日 本部総会
- 6月4日 会計監査
- 7月8日 支部総会
- 11月 役員会
- 令和6年1月 支部新年会





令和6年開校記念ゴルフ大会のご案内・申込書



主催 高知工業高等学校同窓会ゴルフ部会

記

令和6年度開校記念ゴルフ大会を下記の要領で開催することになりました。
昨年も多数の参加ありがとうございました。今年も皆様の元気な姿にお目にかかることを楽しみに
しています。

ゴルフ愛好家の皆様、特に若い方の多数の参加をお待ちしております。

- 1.日時 令和6年4月28日(日曜日)
スタート8時30分頃の予定(若干の時間の変更はあります)
- 2.場所 高知ゴルフ倶楽部
高知市重倉945番地 ☎ 088-845-1163
- 3.参加資格 同窓生 教職員 ご家族の方
- 4.競技方法 18ホール ストロークプレイ HC ダブルペリア方式
- 5.参加料 2,000円(プレー費自己負担)
※基本セルフプレイになります、キャディ希望の場合申込書にご記入ください
- 6.参加申込み・お問い合わせ
申込み・問い合わせ先 高知工業高等学校同窓会事務局
住所 高知市棧橋通り2丁目11-6
TEL・FAX 088-831-4133
- 7.申し込みは4月5日までにお願いいたします。(組合わせ表は4月15日ごろ発送予定です。)
※出来るだけ1組単位での申し込みお願いいたします。
申し込みは郵送・FAX・電話・メールで受付いたします、必要事項のご記入、申し込みお願いします。
又、組合せ表は決定後、代表者に郵送させていただきます。

令和6年度開校記念ゴルフ参加申込書

代表者氏名		電話		FAX	
卒業年・科		住所			
参加者名	卒業年	科	住所	電話・FAX	キャディ希望

『工業ハ富国ノ基』読書感想文表彰

新入生の皆さんに創立者の伝記『工業ハ富国ノ基』の読書感想文を書いてもらっています。優秀作品の表彰は、12月22日の2学期終業式の間で行いました。入賞した生徒さんは次の通りです。最優秀作品を掲載しています。

- | | | |
|-------|-----------------|---------------|
| ● 最優秀 | 馬詰 里心 (総合デザイン科) | |
| ● 優秀 | 糸川 泰生 (機械科) | 福家 優佑 (電気科) |
| | 土居 春陽 (情報技術科) | 岡林凌太郎 (工業化学科) |
| | 大石 陽太 (土木科) | 高橋 育心 (建築科) |

最優秀

時代を支える工業

総合デザイン科 馬詰 里心

四月七日。私は胸を奮わせながら高知工業高校に入学した。中学校とはまた違う工業を専門に学ぶ事に不安もあったが、優しい友達や先生方に恵まれ、楽しく一学期を過ごす事が出来た。そんな中で、私はこの学校や工業について知らない事がまだまだ沢山ある事に気がついた。そこで、読書感想文を通して「竹内綱と明太郎の伝記 工業ハ富国ノ基」を読み学びを深めた。

この本は、高知工業高校や世界のコマツの創業者である竹内明太郎先生の仕事に対する熱意や生き方について詳しく書かれている。この本を読んで、特に心に響いた明太郎先生の行動や言葉が三つある。

一つ目は、情熱と意欲を持って仕事に取り組む姿勢だ。政治の世界から炭鉱営業へ大きな転身をした明太郎先生は、毎日現場へ足を運び分からない事や疑問はすぐに聞いていたそうだ。何事にも興味と関心を持つ高い意欲と仕事への強い情熱は、技術者としても、一人の人間としても素晴らしいなと思った。私も改めて初心を忘れず、探求心を持って何事にも取り組んで行こうと思った。

二つ目は、「技術の習得と一個の人間としての学習も欠かせない、双方が相まってこそ一人前の技術者」だ。色々な実習を通してより良い技術を身につけたり、周りの友達と互いにアドバイスを

し合うなど、仲間と共に高め合いながら成長する事が出来ていると思う。また、利用してくれる人の為を思い真心を持つことや、挨拶、時間を守る、言葉遣いなど人として技術者として大切な事もしっかり身につけていこうと痛感した。

最後に、「工業富国基」だ。工業こそ国を富ます基であるという明太郎先生の強い理念である。現在、我が国はsociety5.0社会（超スマート社会）の実現を目指している。IOTで全ての人とモノが繋がり様々な情報や知識が共有されたり、AIによるロボットや自動走行車の発達などが進んでいる。サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させ、様々な社会問題を改善し、大きな変化を求められる中でも、工業はイノベーションから新たな価値や誰もが快適に質の高い生活を送れる社会を作る事ができるのではないだろうか。いつの時代でも、工業こそ国や社会を動かし、富ます強い力であり、尽きる事のない無限の可能性を秘めていると思う。

このように、明太郎先生は、未来の世代に沢山の事を残してくれた。工業を修める者として、明太郎先生の強い理念や理想を引き継ぎ、これからも全力で勉強に励んでいこうと強く思った。また、将来の夢に向かって、仲間と共に、実り豊かな三年間を過ごしていきたい。

母校だより

令和5年度の就職状況について

高知工業高校進路指導主事 明神 徹

同窓会の皆様には日頃より大変お世話になっております。まだ途中経過ではありますが、本年度の就職状況につきまして、ご報告いたします。

令和5年度は、3年生275人のうち138人が就職を希望しており、3年ぶりに就職希望者が進学希望者を上回りました。12月現在で民間企業に115名が内定をいただいております、公務員は、高知県庁7名、高知市役所2名、香南市役所1名、須崎市役所1名、いの町役場1名、高知県警1名、国家公務員6名が合格しております。

求人状況につきましては、昨年までの[社]での集計ではなく、他校と足並みを揃えた[件]で集計をしたため、見た目上の数は増えています。県内は333件と令和3年度からほぼ横ばい、県外は1279件（まだ集計中です）で、特に関東からの新規求人が多くなっています。また、県外企業が年間休日数や基本給を大きく増やしているのに対し、県内企業は微増や現状維持にとどまっております、求人条件に再びひらきが生じてきた感があります。

生徒が就職先を選ぶ際、部活動や各科の先輩方とのつながりを重視するなど、これまでの就職実績のある企業を選ぶ傾向が続いています。これは求人票だけでは分からない会社の様子などを知ることのできるものが大きく関係していると思われまます。その意味でも毎年2月に実施している進路ガイダンスに100名近くの同窓生が参加して下さっていることは、生徒の進路決定に非常に役立っています。本校同窓生の皆様に改めてお礼申し上げます。

就職地域の状況につきましては、県内就職の比率は約60%で、昨年度の67%から下がり、ここ数年来の上昇傾向がストップしました。地域別に見ていくと、関東は横ばい、昨年大きく数

を減らしていた中部は例年通りに戻りました。また、関西が大きく数を伸ばした一方で、四国は減少しました。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

求人数の推移

※令和5年度から[件]数で集計

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
求人総数[件]	1612	1097	984	986	944
県内求人数[件]	333	302	296	256	251
県外求人数[件]	1279	795	688	730	693

就職者の地域分類(過去5年間)

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
関東地区[人]	6	7	3	6	11
中部地区[人]	13	4	10	9	15
関西地区[人]	21	12	12	14	13
中国地区[人]	3	2	5	5	1
四国地区[人]	9	13	12	19	17
その他[人]	1	0	0	1	1
高知県内[人]	79(60%)	76(67%)	75(64%)	91(63%)	80(58%)
総計[人]	132	116	117	145	138

本年度の就職先一覧です。各地区におけるご指導よろしくお願いたします。

地区		事業所名	科
関東	東京都	東京電力パワーグリッド	テ
		古河電気工業株式会社	テ
		多田建設 株式会社	ケ
	神奈川県	日産自動車 株式会社	キ
		ENEOS株式会社	カ
		関西ペイント株式会社	カ
中部	愛知県	株式会社 アイシン	キ
		株式会社 ジェイテクト 本社	キ
		トヨタ車体 株式会社	キ
		株式会社 豊田自動織機	キキ
		株式会社 デンソー	キ
		オークマ 株式会社	キ
		トヨタ紡織 株式会社	キシ
		大同特殊鋼 株式会社	キ
		株式会社 東海理化電機製作所	キ
		トヨタ自動車 株式会社	キ
		中部電力パワーグリッド 株式会社	テ
関西	大阪府	株式会社 かんでんエンジニアリング	テテ
		アイ電気通信 株式会社	テ
		三栄電気工業株式会社	テ
		関西電力 株式会社	テ
		協和テクノロジーズ株式会社	シ
		株式会社 クボタ	カ
		株式会社 カネカ	カ
		ステラケミファ株式会社	カ
		三榮工業 株式会社	カ
		奥村組土木興業 株式会社	トトケ
		株式会社中研コンサルタント	ト
	株式会社 ジョダイナミック	ト	
	澁谷食品 株式会社	ソ	
	京都府	株式会社 奥谷組	ケ
		プラネットエナジー&ソリューションズ(株)	テ
	兵庫県	株式会社 カネカ	カ
		山崎建設 株式会社 関西支店	ト
	中国	広島県	常石造船 株式会社
JFEプラントエンジ株式会社 福山事業所			テ
積水ハウス建設中国四国 株式会社			ケ
四国	徳島県	大塚製薬 株式会社	カ
	香川県	株式会社 SKK	キ
	愛媛県	住友金属鉱山 株式会社 別子事業所	カ
他	福岡県	九州旅客鉄道 株式会社	ケ
公務員		高知県庁 土木	ト7
		高知県警	ソ
		高知市役所 初級土木	ト
		高知市役所 初級建築	ケ
		香南市役所 初級土木	ト
		須崎市役所 事務職	ケ
		いの町役場 土木	ト
		四国地方整備局	トケケケ
		警察庁	シ

地区		事業所名	科
高知	高知県	株式会社 ミロク製作所	キ
		株式会社 四電工 高知支店	キテテカ
		株式会社ミットヨ 高知工場	キ
		株式会社 ジェイアール四国メンテナンス	キ
		日鉄鉱業株式会社	キ
		株式会社 新来島高知重工	キ
		兼松エンジニアリング株式会社	キ
		株式会社ISS富士鍛	キ
		ニッポン高度紙工業株式会社	キテ
		三洋工業株式会社	キ
		日鉄鉱業株式会社	キ
		四電エンジニアリング 株式会社	キテ
		株式会社 技研製作所	キキシ
		トヨタカローラ高知 株式会社	キ
		(株)ミロクテクノウッド	キシ
		一般財団法人 四国電気保安協会	テテテ
		NKKソリューションズ株式会社	テ
		東洋平成ポリマー 株式会社	テ
		四国電力送配電 株式会社	テテ
		株式会社 ミライト・モバイル・ウエスト	テ
		高知プラントサービス(株)	テ
		株式会社 四電技術コンサルタント	テ
		株式会社 グリーンパワーインベストメント グリーンパワー大月	テ
		荒川電工(株)	テ
		株式会社 四国日立	テ
		パシフィックソフトウエア開発(株)	シ
		株式会社 南国ミロク	カ
		東洋電化工業 株式会社	カ
		南海化学(株) 土佐工場	カ
		日本製紙パピリア株式会社 高知工場	カ
		株式会社高知ホテルマネジメント	カ
		株式会社 建設マネジメント四国	トト
入交建設株式会社	トト		
都市開発コンサルタント(株)	ト		
株式会社 技研施工	ト		
ミタニ建設工業 株式会社	トトケケ		
一般社団法人 四国クリエイト協会	ト		
西日本高速道路エンジニアリング四国 株式会社	ト		
株式会社 J-POWERハイテック	ト		
(株)サン土木コンサルタント	ト		
ミタニ建設工業 株式会社	ト		
新進建設 株式会社	ト		
福留開発(株)	ト		
株式会社 岸之上工務店	ケケケ		
有限会社 三谷工務店	ケ		
株式会社 LIXILトータルサービス 中四国支店	ケ		
明星産商 株式会社	ソ		
(株)高知クリエイト	ソ		
(株)高知駅前観光	ソ		
(有)西村謄写堂 第七・第八事業所	ソ		

最近の進学状況について

進学指導部 池川 吏

本校の最近の進学についてみると、例年約半数が進学しているように、昨年も全体の約53%が進学となっています。進学先は、4年制大学へ進学が各種専門学校への進学が大多数を占め、短期大学への進学者は減少傾向にあります。昨年度の具体的な進学状況は、大学68名（国公立19名[高知大学3名・高知工科大学14名・高知県立大学2名]、私立大学49名）、ポリテクを含む短期大学14名、専門学校等45名でした。（別表 令和4年度 科別進学者数を参照下さい。）

令和2年度入試から新しい入試制度が導入され3年が経ちました。AO入試は「総合型選抜」、推薦入試は「学校推薦型選抜」、一般入試は「一般選抜」へと名称と中身も変化しています。今までの推薦入試では面接のみという大学も多かったのですが、小論文や学科試験、面接も各教科の口頭試問を含むなど、学力評価の方法を導入することが必須になっています。日程に関しても、合格発表は総合型選抜が11月以降、学校推薦型選抜は12月以降となり、高校でしっかりと学力を身に付け大学に進学するという動きになっています。また、指定校推薦の合格決定後には、進学先の大学から入学までの間に入学前教育という形で、入学後にしっかりと身に付けてほしい基礎学力の課題が提出されることが多くなっています。

試験内容としては、高知工科大学において、総合型選抜で、志望理由書、調査書に合わせ、システム工学群では物理・数学による選択の学科試験と面接、理工学群では物理・化学・生物の選択による学科試験と面接、情報学群では学科試験（数学・情報の選択）と面接とを課す中で、面接重視のA区分、学科重視のB区分の総合選抜がされました。来年度から設置されるデータ&イノベーション学群でも数学・英語の選択による学科試験と面接が行われました。そして、学校推薦型選抜では、情報学群は実施せず、システム工学群、環境理工学群、経済マネジメント学群、データ&イノベーション学群（女子枠）で実施されます。

今年度も総合型選抜で高知大学と高知工科大学に、学校推薦型選抜で高知大学、高知工科大学、高知県立大学に30名を超える生徒が挑戦します。また、本校が大学進学において欠かすことのできない指定校推薦が、11月1日より随時出願が始まります。それに向けての面接練習や学力試験対策を行っています。

全国的な流れとしては大学入試改革として、「大学入学共通テスト」によって、思考力・判断力・表現力を中心に評価することで大学教育を受けるために必要な能力を測定することを目的としたテストの実施がされています。令和7年度からは英語・数学・国語・理科・社会の5教科に加え新しく「情報」の科目もテストに加わります。

また、「高校生のための学びの基礎診断」も実施され始めました。その中に、スピーキングテストなどの内容も含まれ、これからの社会で必要とされる能力を踏まえ、大学進学希望者に限らず、すべての高校生の学習意欲の喚起と基礎学力定着に向けた試みとしています。

このように大学の学科変更や大学入試制度、専門職大学など大きく変貌をしようとしている中で、工業高校生徒の大学進学の手段方法に対してアンテナを張って情報を集めなくてはならない状況になっています。同窓生の皆様におかれましても、ご助言等ございましたらよろしくお願いたします。

最後になりますが、同窓会の今後ますますのご発展と、同窓会各位のご活躍をご祈念申し上げます。

別表【令和4年度 科別進学者状況】

	機械	電気	情報	化学	土木	建築	総合デザ	計
国公立大学	1	0	8	4	1	4	1	19
私立大学	5	3	5	4	2	19	11	49
短期大学(ポリテク含む)	1	1	7	1	0	0	4	14
各種専門学校等	2	6	4	5	6	4	18	45
高専編入	0	0	0	0	0	0	0	0
計	9	10	24	14	9	27	34	127

企画・情報部より

5年ぶりの体育祭開催で歓声飛び交う

花咲かせ令和最初の大合戦 ～古今東西、千客万来、工業飾るは体育祭～

全校生徒が待ちに待った体育祭が5年振りに開催されました。新型コロナウイルスの影響で、体育祭の開催は感染予防の観点から断念されておりましたが、今年は開催され、応援生徒や多くの観客の歓声を受けながら工業生が7科対抗で全力で戦い抜きました。体育祭中盤までは、機械科、建築科が土木科に対して猛追していましたが、終わってみれば大差をつけて常勝土木科の優勝で幕を閉じました。また、応援合戦や応援パネル、行進なども優秀な科はそれぞれの賞を受賞しました。

応援賞＝土木科

パネル賞＝総合デザイン科

式典賞＝機械科

5年ぶりに元気な生徒の姿がグラウンド一杯に広がり、賑やかな一日となりました。この姿が高知工業の本来の姿ですね。

機械	電気	情報技術	工業化学	土木	建築	総合デザイン
312	429	163	174	553	406	250



ジュニアマイスター顕彰制度

多くの生徒が受賞 特別表彰5名

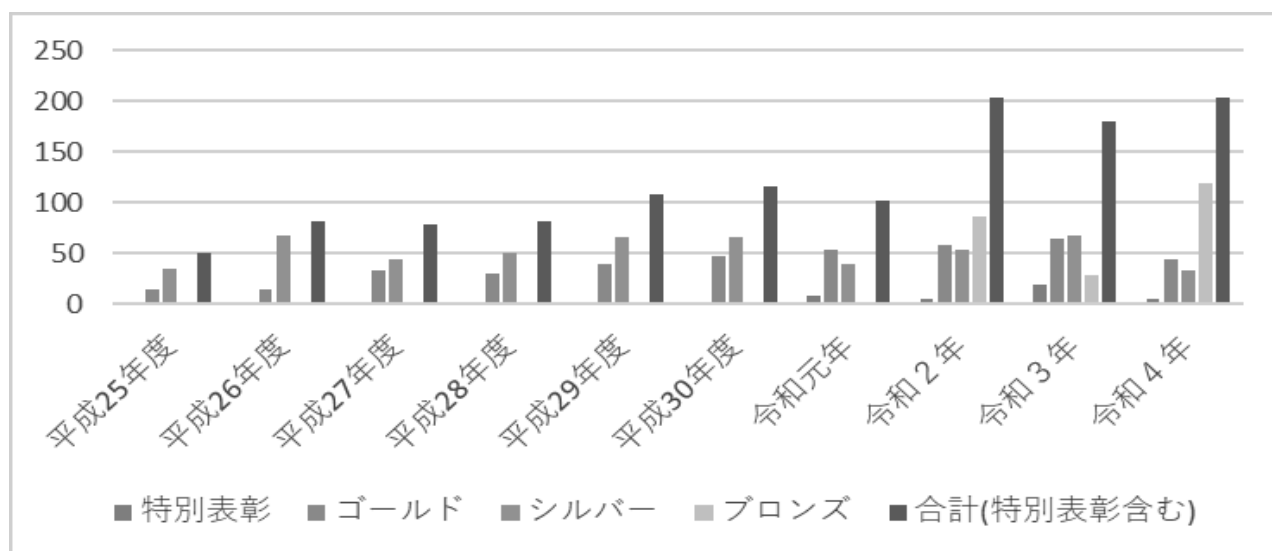
ジュニアマイスター顕彰制度は、取得した資格・検定やものづくり大会入賞などが点数化され、その合計点により全国工業高等学校長協会が表彰する制度です。点数の合計が30点以上であれば「ジュニアマイスターシルバー」、45点以上であれば「ジュニアマイスターゴールド」の称号が与えられ、特に工業技術・技能の向上が顕著である者は選考により特別表彰されます。

また、ジュニアマイスター顕彰制度におきまして、「特別表彰」と「ゴールド」の受賞者に、同窓会より卒業時に副賞として商品券が与えられています。



表 本校の表彰状況（過去10年）

	特別表彰	ゴールド	シルバー	ブロンズ	合計(特別表彰含む)
平成25年度	0	15	35		50
平成26年度	0	14	68		82
平成27年度	2	33	44		79
平成28年度	1	30	51		82
平成29年度	2	40	67		109
平成30年度	2	47	67		116
令和元年	9	54	39		102
令和2年	6	58	54	86	204
令和3年	19	64	68	29	180
令和4年	5	45	34	120	204



定時制だより



〈外部講師活用事業〉

◇防災教育講演会

(株)フタガミ 防災アドバイザー
楠瀬 淳司 氏
令和5年9月27日(水)
高知工業高等学校 体育館

◇キャリア講話

(株)工栄 常務取締役 技術部統括部長
小松 嘉久 氏
令和5年11月20日(月)
高知工業高等学校 会議室

〈外部講師による講演〉

◇非行防止教室(ネットリテラシー)

高知南警察署 生活安全課
明神 千穂 氏
令和5年6月21日(水)
高知工業高等学校 体育館

◇非行防止教室(交通安全教室)

高知南警察署 交通課長
織田 憲生 氏
令和5年10月26日(木)
高知工業高等学校 会議室

◇非行防止教室(薬物乱用防止教室)

高知南警察署 生活安全課
明神 千穂 氏
令和5年11月14日(火)
高知工業高等学校 会議室

〈部活動〉

男子バスケットボール部

- ・高知工業高等学校 体育館
令和5年度(第71回)
高知県定時制・通信制体育大会
令和5年6月4日(日) 第2位
第59回高知支部体育大会
令和5年10月8日(日) 第3位

バドミントン部

- ・高知北高等学校 体育館
第59回高知支部体育大会
令和5年10月8日(日)
団体の部 第3位

〈各種コンテスト等〉

◇高知県定時制通信制生徒生活体験発表会

令和5年10月6日(金)
高知県民文化ホール・グリーンホール
4ヶ 瀧本 圭佑
演題「人生は『結果』」
NHK高知放送局長賞 受賞

◇建設技術展2023近畿橋梁模型製作コンテスト

令和5年11月1日(水)～2日(木)
大阪府大阪市 インテックス大阪
【会場製作部門】最優秀賞
1ト 島村 空晏・山岡 まり子
【学生部門】優秀賞
1ト 大西 泰河・島村 空晏
【学生部門】人気作品賞
1ト 山岡 まり子

〈各科の事業等〉

★外部講師活用事業

◀電気科▶

株式会社 四電工 高橋 靖幸 氏
令和6年1月10日(水)
演題「電気工事の実務と屋内配線の技術指導」

一般財団法人 四国電気保安協会
前田 隆司 氏

令和6年1月下旬頃開催予定
演題「電気の保安について」

◀土木科▶

株式会社 清野組 小林 安通 氏
令和5年11月9～10日・16～17日・
24日(5日間)
演題「公園整備の基礎」

高知工同窓会 母校に車寄贈

高知工業高校同窓会(右城猛会長)は10日、母校に普通車1台(410万円相当)を寄贈した。写真。昨年の創立110周年に合わせた記念事業の一環。

同校には、野球部やサッカー部などの遠征用として2台の中型バスがある。今回は課外授業や登山部、空手部といった少人数の部活用として普通車「ハイエース」(10人乗り)を贈った。維持費は車体側面の4社2団体の広告料金でまかなう。

この日、同校で贈呈式が行われ、右城会長や北村晋



助校長、生徒ら約100人が出席。生徒会長の2年、田原宗幸さん(17)は「生徒を応援する思いが伝わり、感謝でいっぱいです」と述べた。

(新田祐也)



本部より

1. 事業計画・経過報告

月	日	事業内容	備考
4	3	会計監査	
	8	第1回常任役員会	
	15	第1回理事会	
	28	開校記念ゴルフ大会	
5	2	高知工業高等学校開校記念講演	
	3	総会(ザクラウンパレス新阪急高知)	
6	17	大阪支部(鯨工会)総会	
		幡多支部(波多愛工会)総会	中止
	24	野球部OB会総会	
7	8	物部川支部総会	
	9	新大地の会	
	22	第2回常任役員会	
	23	東海支部(南風会)総会	
9		同窓会・PTAによる就職模擬面接	廃止
	9	第1回青年部会	
		安芸支部(芸工会)総会	中止

月	日	事業内容	備考
10	7	東京支部(桂工会)総会	
	28	土木科同窓会	
	28	バスケットボール部OB会	
	29	剣道部OB会(剣友会)総会・ 創部100年祝賀会	
11	10	ハイエース贈呈式	
	18	第3回常任役員会	
	24	第2回青年部会	
	25	嶺北支部(吉野川会)総会	
12	22	『工業、富国、基』読書感想文優秀作品表彰 轟組高知工業OB会	中止
	28	青年部主催 筆山公園除草作業・ 第3回青年部会	
2	2	同窓会入会式・記念品贈呈(定時制)	
	3	四電高知支部総会	
	3	物部川支部新年会	
	14	課題研究発表会表彰	
	21	同窓会入会式・記念品贈呈(全日制)	
		同窓会会報(第63号)発送	
	29	ジュニアマイスター顕彰制度表彰	
3	1	同窓会通信の配布	

2. 令和5年度役員

役職	卒年・科		氏名
名誉会長			北村 晋助
会長	昭和45	土 木	右城 猛
副会長	昭和45	土 木	吉良 勉
	昭和54	土 木	小松 雄二
	昭和59	土 木	宮崎 功司
	昭和59	土 木	岡田 雅吉
	昭和60	機 械	北川 雅規
	昭和60	機 械	中野 耕喜
	昭和62	土 木	麻田 健二
	昭和63	電 気	中尾 昭一
	平成 6	情報技術	寺川 湖砂
	平成17	工業化学	嶋 健太
	昭和61	情報技術	大原 義規
			竹崎 仁
監事	平成 7	建 築	上村 正博
	昭和59	電 気	和田 環
事務局長	平成 5	情報技術	野村 亮
	昭和47	工業化学	中野 邦彦

3. 同窓会支部組織

同 窓 会 組 織			
名 称	役 職	氏 名 (卒年科)	連 絡 先
同 窓 会 本 部	会 長 事務局長	右城 猛 (昭45ト) 中野 邦彦 (昭47カ)	本部直通 TEL 088-831-4133 kths2004dousoukai@leaf.ocn.ne.jp
東 京 支 部 (桂 工 会)	支 部 長 事務局長	池上 博 (昭39テ) 岩崎友太郎 (昭40コ)	TEL 080-7453-0801
東 海 支 部 (南 風 会)	支 部 長 事務局長	松本 幸平 (昭53キ) 久保内大介 (昭60キ)	TEL090-7857-8782
大 阪 支 部 (鯨 工 会)	支 部 長 事務局長	小橋 壽也 (昭53シ) 杉山 康弘 (昭61ケ)	TEL090-8385-3006
室 戸 支 部 (室戸鯨工会)	支 部 長 事務局長	山本 總 (昭54ト) 前田 康司 (平3カ)	TEL090-8975-9714
安 芸 支 部 (芸 工 会)	支 部 長 事務局長	黒岩 良行 (昭40テ) 山手 敏和 (昭49テ)	TEL090-8281-8292
物 部 川 支 部	支 部 長 事務局長	丸岡 克典 (昭47キ) 中村 文香 (平8ト)	TEL090-3783-2821
嶺 北 支 部 (吉野川会)	支 部 長 事務局長	畠山多美夫 (昭52キ) 川村 博彦 (昭51キ)	TEL090-6281-1885 TEL090-5143-0481
幡 多 支 部 (波多愛校会)	支 部 長 事務局長	福田 充 (昭44ケ) 杉本 一博 (昭54ケ)	TEL090-8696-7555

4. ホームページのURLが変わりました

高知工業高校同窓会ホームページアドレス (URL) を変更いたしました。

◆新ホームページアドレス

<https://kthsdousoukai.net/top.html>



5. 業務時間について

本部にご用の方は、下記時間帯にお願いします。

平日 11:30~15:30 (水曜日・土・日・祝祭日を除く)

尚、HPからもお問い合わせが出来ますのでご活用下さい。



総会懇親会 ■会 費 8,000円

同窓会会費 ■終身会員でない方は年会費 1,500円
をお願いします。

■終身会費 (終身会員でない方) 20,000円
をお願いします。

※ 終身会員の方は、タックシール住所・お名前の横に
示しております。

寄付金の募集も行っています。
何卒ご協力のほどよろしく
お願いいたします。

次代を設計し、未来を提案する。

インフラを守る／地震・災害から守る／コミュニティを守る



UAVレーザー計測



各種橋梁設計



各種道路設計



本校卒業生**22名** 新卒採用・中途採用 募集中!!
詳細は、弊社ホームページをご覧ください。



総合建設コンサルタント

株式会社 **第一コンサルタンツ**

同窓会会長 右城 猛(昭和45年／土木科卒)

連絡先 〒781-5105 高知市介良甲828-1
TEL (088) 821-7770
FAX (088) 821-7771

■ホームページ <http://www.daiichi-consul.com/>

■会社データ

- 設立 1963年(昭和38年) ●資本金 4,500万円 ●代表者 代表取締役社長 右城 猛
- 従業員数 144名(2023年4月)
- 事業内容 建設コンサルタント業、補償コンサルタント業、測量業、地質調査業、一級建築士事務所
- 事業所 本社、幡多支店、安芸営業所、松山事務所、徳島事務所、東京事務所、棧橋倉庫





灯台



太陽光発電



道路照明



未来を支える、電気之力。



ポンプ場



トンネル照明



港湾施設

黒潮電機(株) 高知市仁井田1620-2
TEL.088-847-0074

高知の企業は、
あなたを
待っています。

『高知求人ネット』は、高知にU・Iターンする方を対象(※1)に、
県内の企業と求人情報を紹介する情報サイトです。
あなたの「高知で働きたい!」を全力でサポートします。

登録企業数 (※2)

934社!

登録求人数 (※3)

696件!

※1 これからU・Iターンされる方、U・Iターン後1年以内の方が対象。

※2、3 2023年3月末現在

まずは
アクセス!



高知で働きたい、と思ったら、
まずは『高知求人ネット』へ。

就職・転職サポートサイト
高知求人ネット

高知求人ネット

検索



TODOROKI
CORPORATION

総合建設業

株式会社 轟組

代表取締役社長 吉村 文次

本社 〒781-8006 高知市萩町1丁目5番13号

TEL 088-834-1011 FAX 088-834-1021

URL www.todoroki.co.jp

支店：東京・中国（島根） 営業所：名古屋・甲府

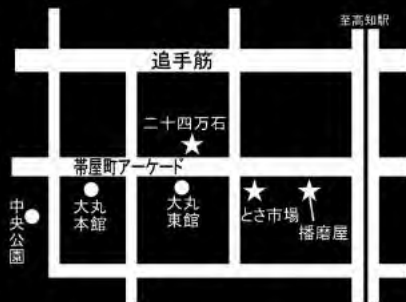


CHRES
サンピアシリーズ

〒781-8101 高知県高知市高須砂地155
tel 088-866-7000 fax 088-866-7017
URL www.chres.jp E-mail info@chres.jp

無料駐車場
400台完備

郷土の味 早川グループ



新鮮土佐料理

とぎ市場
 はりまや町1-3-11 ☎088-872-0039

土佐ノ國
二十四万石
 帯屋町1丁目2-2 ☎088-822-2459

少人数様から130名様までご利用いただけます。

※店舗により収容人数は異なります

土佐の呑み喰い処
播磨屋 宗徳
 ☎088-823-1341
 はりまや町1-3-15

和餐 **帯** や
 obiyakansuke
 Japanese Dining
 ☎088-823-4180
 帯屋町2丁目2-15

剣友会

高知工業高等学校 剣道部 OB 会

剣友会会長 中野邦彦

お家が出来たら家族写真

お家に出張撮影
出来ます

ドローン空撮もやっています

広告宣伝用撮影
土木建築調査～竣工撮影
幅広い分野で10年の経験と実績

NISHIKAWA

西川写真

スタジオでも
出張でも
家族写真は
西川写真

高知市知寄町2丁目電車通り ちより街テラス前 Tel 088-883-0750



エレクトロニクスを通じ地域社会に貢献する
魅力に満ちた会社創りを目指す

株式会社

TOSADENSHI 土佐電子

高知県土佐市高岡町乙 61-10

TEL: 088-850-2600
<http://www.tosadenshi.co.jp>

裏方のプライド。

面倒は大好物だ。

難題であるほど武者震いする。

自分たちにしかできない仕事があることを、誇らしく思う。

それが自分たちだ。

もちろん、現実はその簡単にいかない。

いくわけがない。

立ちほだかる壁は高いほうがいい。

口ではそう言うが

逃げ出したくなることもある。

だが、逃げたら終わりだ。

自分たちの奥底には、

歴史を動かし日本の礎を築いた

土佐の志と気骨が息づいている。

先人から受け継いだ遺伝子に

背くわけにはいかない。

だからこそ歯を食いしばり、

死にもぐるいで知恵をふりしぼる。

困難を乗り越えた夜明けが必ずある。

自分たちの成果を心待ちにする人たちがいる。

そう思い、知恵と力をひとつに集め、

現場に汗を記す。

橋の上を肩を並べて歩く二人。

堤防の上から水平線の先に夢を馳せる人。

灯りの中で語らう家族。

平和でなにげない人々の姿を見るときに、

それらは、

我々が成し遂げた大仕事の成果だと、

拳で胸をたたく小さな幸せがある。

決して表舞台ではない。

輝く主役を支える、誇り高さ裏方。

その裏方こそ、私だ。



裏方のプライド。

大旺新洋株式会社

高知県高知市仁井田 1625 番地 2
(TEL) 088-847-2112 (FAX) 088-837-6664

大進 DAISHIN

総合消毒



PEST BUSTERS

快適で安全な生活環境を守ります

ベストコントロールについて

害虫・菌類は卵粒でさればい入だけでありません

お問い合わせ
電話受付時間

0120-49-6494

【月～土 8:30～17:00(夏季 17:30まで)】

時間外も留守番電話で受付中！こちらから折り返し、お電話いたします。メールフォームでも受付中です。

メールでの
お問い合わせはコチラ

info@daishin8.co.jp



自分スタイル豊かな暮らし

あなたの笑顔・希望の器を創ります



建築工房望 株式会社

〒781-5106

高知市介良乙998番地5

TEL 088-878-7174

URL <http://www.k-nozomi.jp>



株式会社 オサキ
<http://www.kkosaki.co.jp/>

高知市神田647-1 TEL 088-833-0171

愛媛／福島／愛知／福岡

[海外拠点] 上海／バンコク



MAZDA CX-60

走らせる楽しさも、環境への思いも。
これからの時代を、堂々と、走り続ける。

CX-60について
詳しくはこちら▶



西四国マツダ

高知中央店
高知市南金田4-11
TEL 088-883-8460

朝倉店
高知市朝倉西町1丁目10-6
TEL 088-844-3131

南国店
南国市田村乙2124-1
TEL 088-864-2191

中村店
四万十市具同2211-1
TEL 0880-37-2107

カップ、トロフィー、 楯、メダル、バッジ

◎文字彫刻無料

☆ユニフォーム、Tシャツ、マーキングできます。
フルカラー写真、マーキング1枚から作ります。
ユニフォーム、Tシャツ持込可能、すぐやります。

ネームプレート高知

〒781-8104高知市高須1丁目14番69号
ホームページ <http://www.shinwakigata.co.jp/>
メール sinwakigata@yahoo.co.jp
TEL 088-883-6823
FAX 088-884-6816
携帯 090-6283-4445



高知城前のやすらぎ

洗練されたフランス料理から
豪快な土佐の皿鉢料理まで美味あふれるグルメフロア。
最新のテクノロジーが導入された
四国最大級のスケールを誇るバンケットホール。
シティーリゾートの香り漂う
バラエティー溢れる242のゲストルーム。
気品に満ちた空間にひろがる
豊かなくつろぎをこころゆくまで…。

〒780-8561 高知市本町4丁目2-50(高知城前)
<https://www.crownpalais.jp/kochi/>



ザ クラウンパレス
新 阪 急 高 知

お問合せは
TEL(088)873-1111(代表)

～ 一枚の紙に生命を吹き込む ～

☎ 781-8008 高知市潮新町 2-14-18 ☎ 088-833-3412 ☎ 088-831-2128 ✉ sinsatsu@gmail.com

有限会社 三宮印刷

武道具×職人技

大切な剣道具だからこそ、細部まで丁寧な縫製・細工が好評です。



小笠原武道具

〒 782-0033
高知県香美市土佐山田町1丁目1-1
TEL 0887-53-7766 Fax 0887-53-7713



サイバラ建設株式会社

(仮称)四万十市文化複合施設建設工事(建築主体工事)
施工：竹中工務店・サイバラ建設特定建設工事共同企業体



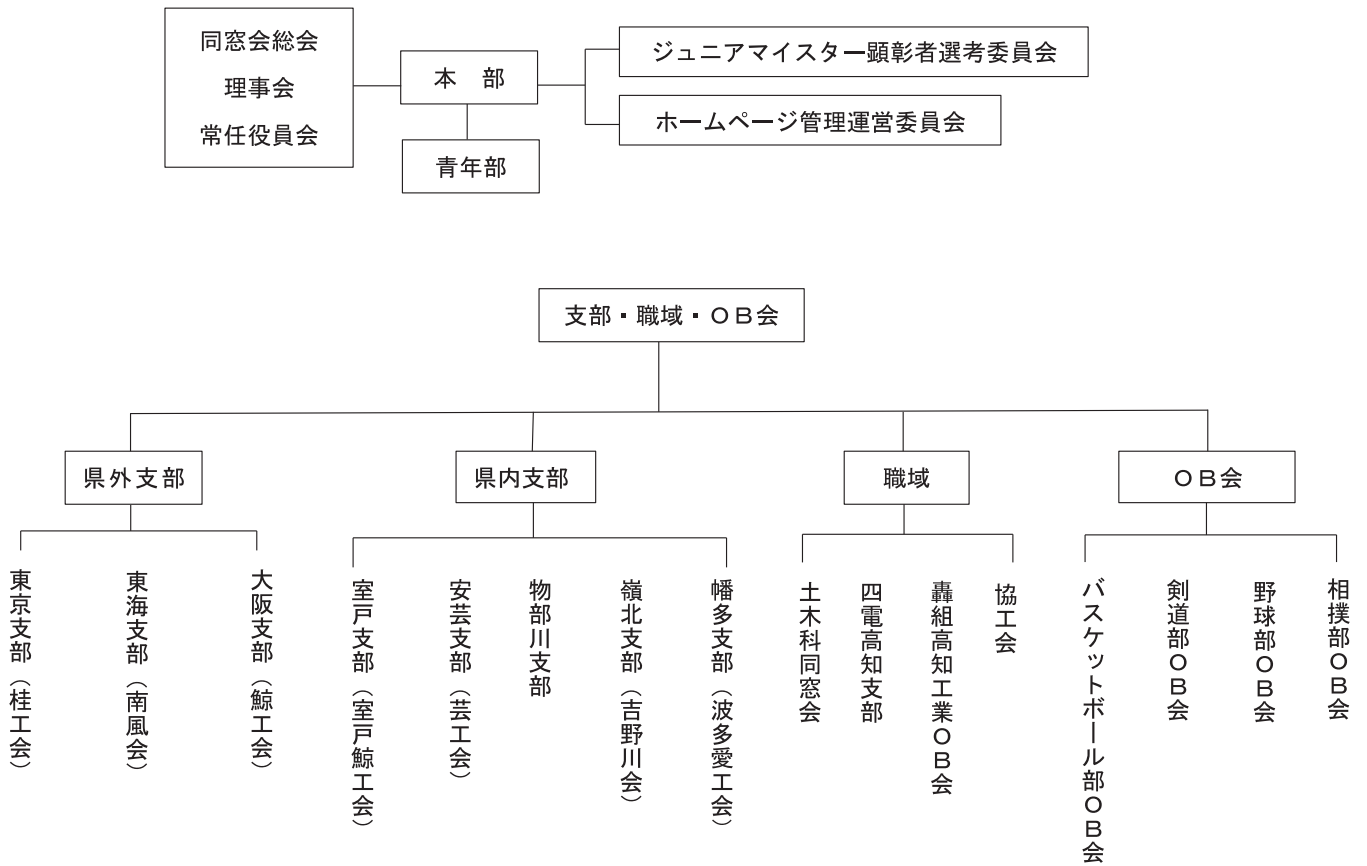
〒787-0010 高知県四万十市古津賀四丁目 108番地
TEL : 0880-35-5188 FAX : 0880-34-6074
<http://www.saibara.co.jp> E-mail: info@saibara.co.jp



生甲斐のある社会づくりに Challenge
代表取締役社長 西原 功起



同窓会組織図





高知県立高知工業高等学校同窓会

〒781-8010 高知県高知市棧橋通2丁目11-6
tel088-831-4133 fax088-831-4133
e-mail:kths2004dousoukai@leaf.ocn.ne.jp

高知工業高校同窓会

検索